

# 2010年秋季大会のご案内

会期: 9月29日(水)～10月1日(金)

会場: 西日本総合展示場・北九州国際会議場・リーガロイヤルホテル小倉



- |                                       |         |  |        |
|---------------------------------------|---------|--|--------|
| <input type="checkbox"/> 大会のご案内       | ..... 1 | <input type="checkbox"/> その他イベントのご案内     | .... 6 |
| <input type="checkbox"/> 会場案内図        | ..... 2 | <input type="checkbox"/> 学術講演会ファイナルプログラム | .... 7 |
| <input type="checkbox"/> ファイナルタイムテーブル | ..... 4 |  |        |

主催: 社団法人自動車技術会

共催: 北九州市 / 財団法人西日本産業貿易コンベンション協会



社団法人  
自動車技術会

# 大会のご案内

## 学術講演会 (63セッション 278件)

### ■参加登録受付場所

事前登録者\*  
当日登録者  
名誉会員・報道関係者  
座長・講演者

西日本総合展示場  
AIMビル3F

\* イベント参加券, 賛助会員無料参加登録券をお持ちの方

開設時間: 8:00 ~ 17:00(9月29日)  
8:30 ~ 16:00(9月30日・10月1日)

### ■参加登録費

- ①個人会員 正会員 3,000円(不課税)  
学生会員 無料
- ②賛助会員および会員外 15,750円(消費税込)

## 学術講演会前刷集・書籍

### ■販売場所

- ①西日本総合展示場 AIMビル 3F 前刷集・書籍販売
- ②北九州国際会議場 1F 前刷集販売コーナー\*

\*北九州国際会議場「前刷集販売コーナー」は前刷集のみの販売となります。

開設時間: 8:00 ~ 17:30 (9月29日)  
8:30 ~ 16:00 (9月30日)  
8:30 ~ 16:00\* (10月1日)

\*北九州国際会議場「前刷集販売コーナー」は16:30まで開設します。

### ■価格

<学術講演会前刷集>

1冊 個人・賛助会員(2割引) 840円(消費税込)  
会員外(定価) 1,050円(消費税込)  
1セット\*1 個人・賛助会員(特別価格)\*2 46,305円(消費税込)  
会員外 66,150円(消費税込)

<Book of Summarized Papers>

会員・会員外(特別価格)\*2 3,000円(消費税込)

\*1 全63分冊(63セッション)

\*2 大会会場で購入した場合の価格です。

## クレジットカード

学術講演会参加登録費, 学術講演会前刷集, 書籍のお支払いはクレジットカードをご利用いただけます。

利用可能カード:

VISA / Master / AMEX / JCB / Diners

## 手荷物のお預かり

### 西日本総合展示場 AIMビル 3F クローク

開設時間: 8:00 ~ 17:30(9月29日)  
8:30 ~ 16:00(9月30日)  
8:30 ~ 16:30(10月1日)

手荷物をお預かりいたします。貴重品, 壊れものなどのお預けはご遠慮下さい。また, お預けになられたお荷物は, 当日中に必ずお受け取り下さい。

(北九州国際会議場にはクロークはございませんので, ご注意下さい。)

## 講演者準備

- ①西日本総合展示場 AIMビル 3F 講演者準備室
- ②北九州国際会議場 2F 講演者準備室

開設時間: 8:00 ~ 17:00(9月29日)  
8:30 ~ 16:00(9月30日・10月1日)

講演発表の準備としてご利用下さい。

## インターネット

### 西日本総合展示場 AIMビル 3F インターネットアクセスコーナー

開設時間: 8:00 ~ 17:00(9月29日)  
8:30 ~ 16:00(9月30日・10月1日)

## Fax. / コピーサービス(有料)

### 西日本総合展示場 AIMビル 2F ガレリア

## 昼食

### ■フードコート/レストラン

西日本総合展示場 AIMビル 2F

### ■レストラン ラ・プラーージュ

北九州国際会議場 2F

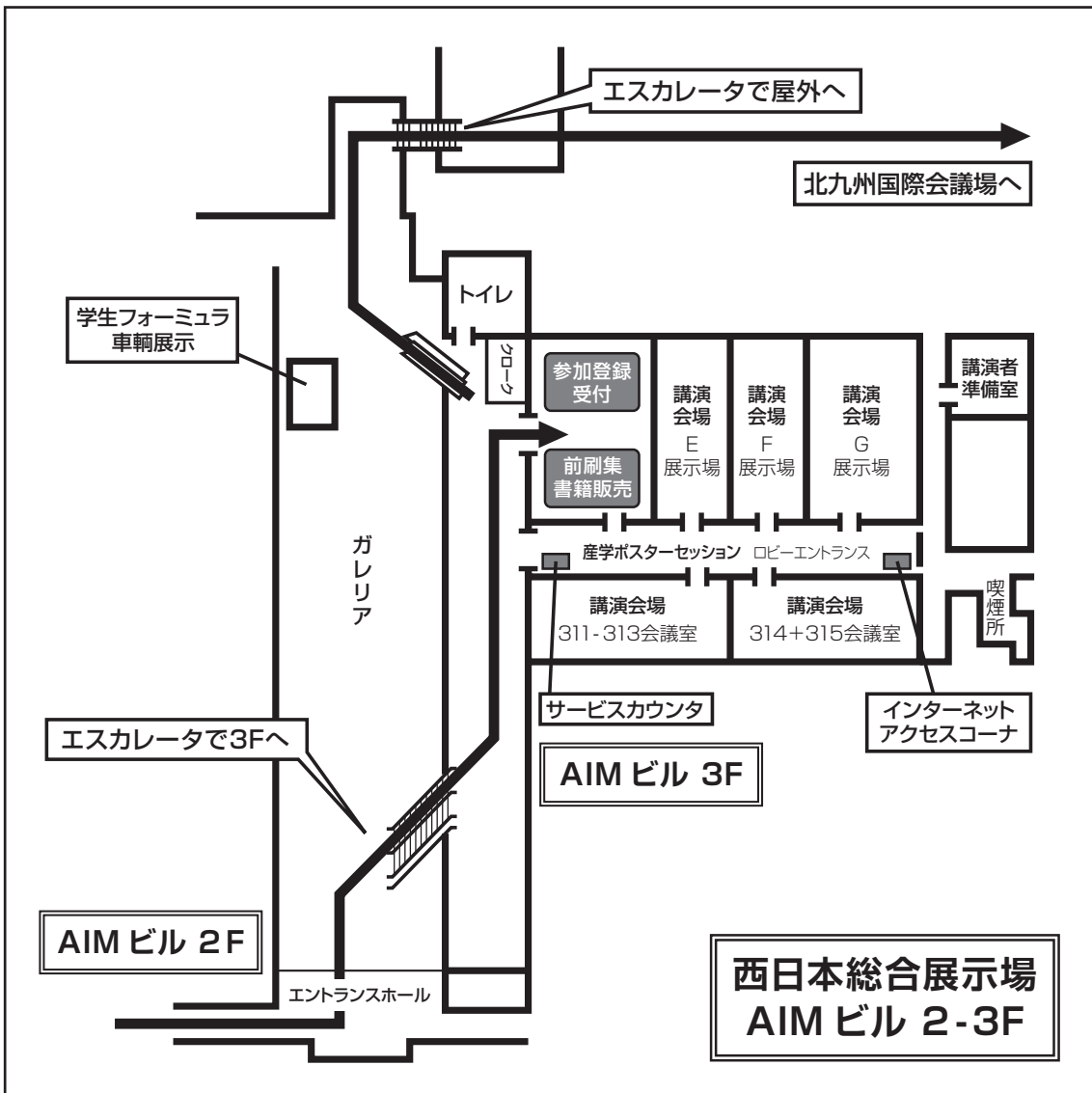
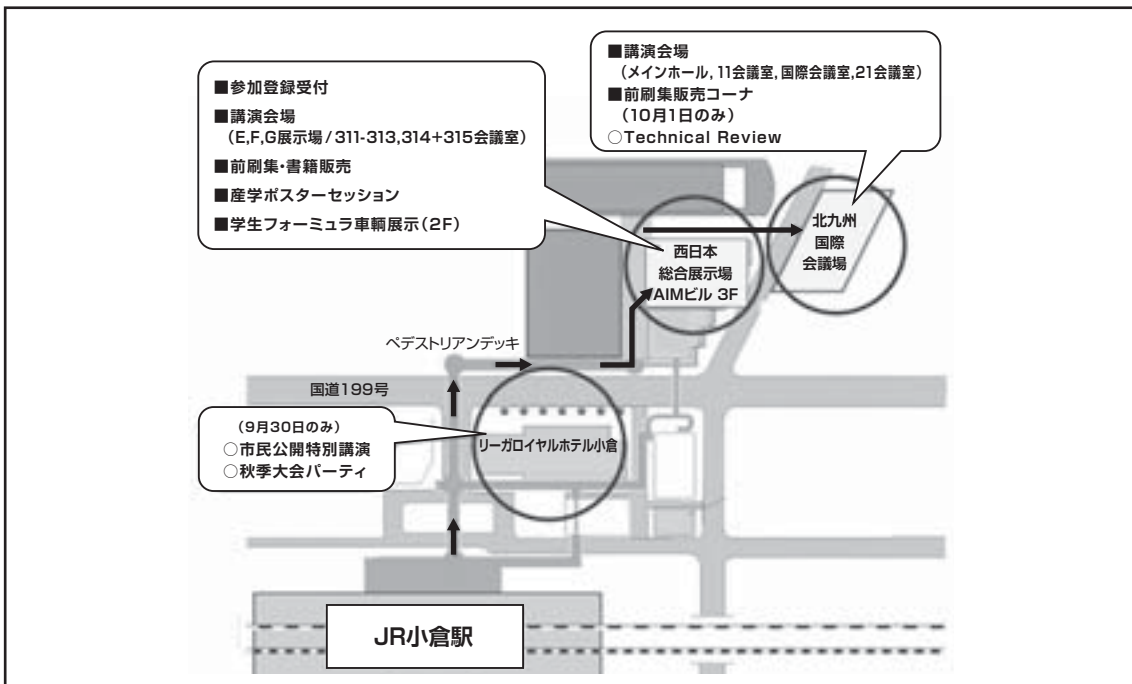
### ■お弁当販売

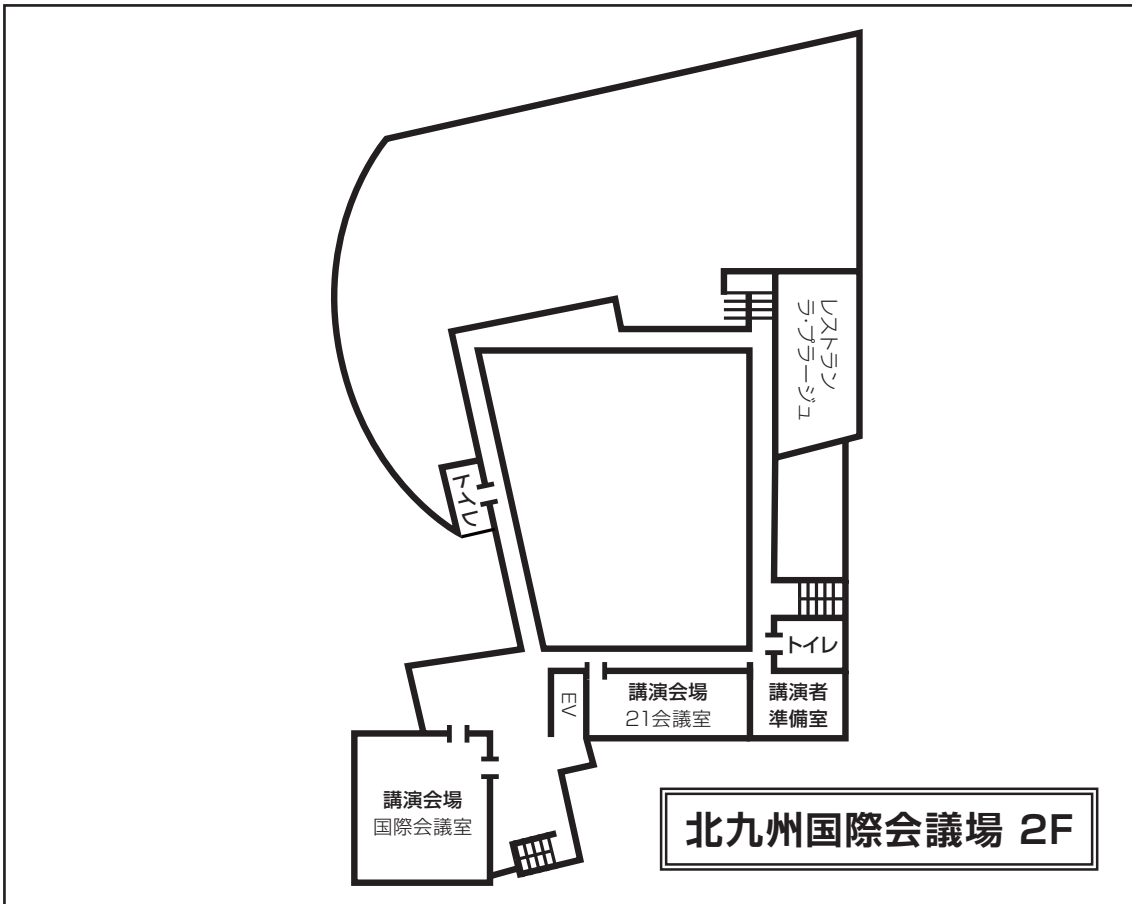
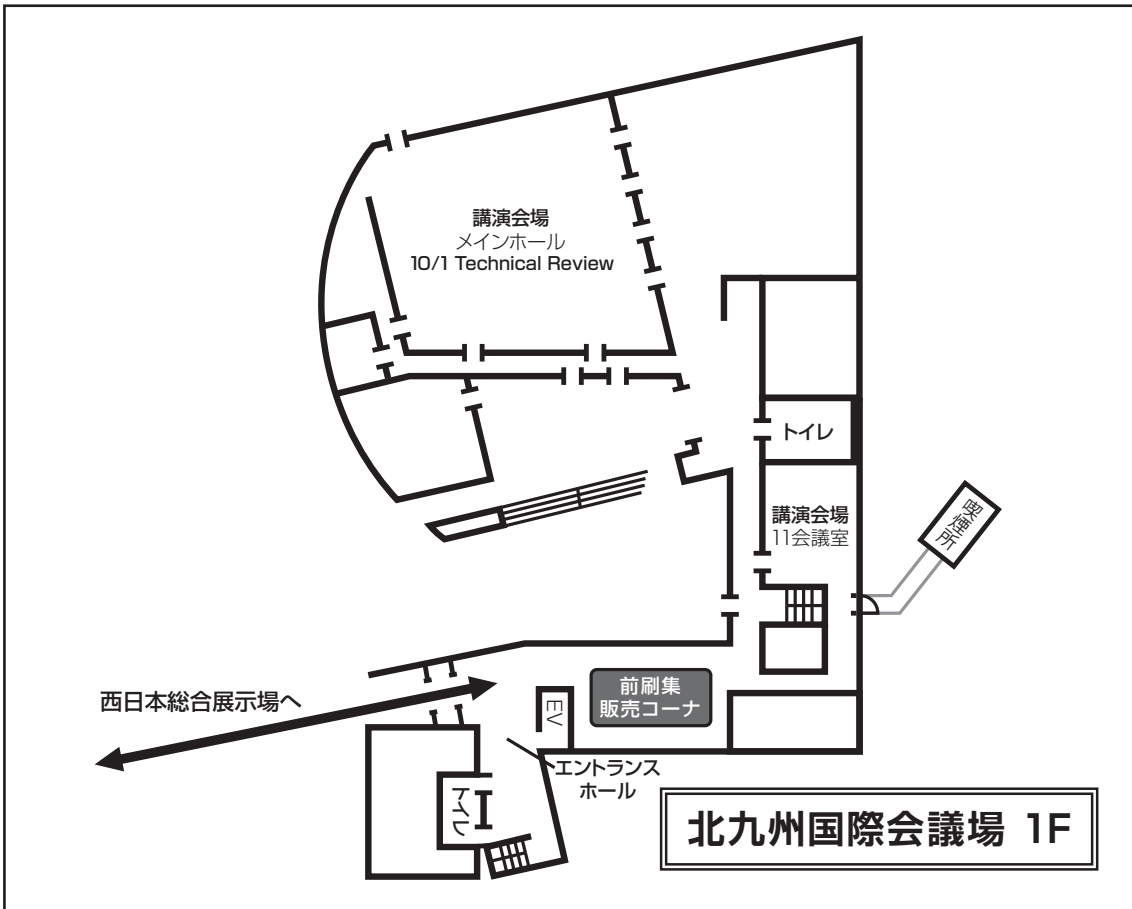
西日本総合展示場 AIMビル 3F サービスカウンタ脇  
北九州国際会議場 1F エントランスホール

販売時間: 11:00 ~ 13:00

(北九州国際会議場の国際会議室以外は, 昼休み時間中に講演会場で飲食可です。)

# 会場案内図





# 2010年秋季大会ファイナルタイムテーブル (63セッション / 278 講演 : 2010年9月13日現在)

※2010年7月1日のプログラム発行以降、取下げ・セッション時間の変更があります。

## 9月29日(水)

※取下げ講演6件(講演No.34,42,78,79,99,116)

西日本総合展示場(AIMビル3F)					
E展示場	F展示場	G展示場	311～313会議室	314+315会議室	ロビーエントランス
[No.96-10] 9:30-11:35	[No.99-10] 9:30-12:10	[No.102-10] 9:30-12:10	[No.105-10] 9:30-11:10	[No.108-10] 9:30-10:45	10:00-17:00 産学ポスター セッション
[講] 1～5	[講] 15～20	[講] 28～33	[講] 43～46	[講] 55～57	
運転支援 I	HMI	高齢者運転	ディーゼル燃焼 I	ガソリンノック・ プレイグニッション	
[No.97-10] 13:00-14:15	[No.100-10] 13:00-14:40	[No.103-10] 13:00-14:40	[No.106-10] 13:00-15:05	[No.109-10] 13:00-15:05	
[講] 6～8	[講] 21～24	[講] 34～38	[講] 47～51	[講] 58～62	
車線逸脱警報 [Eng.8]	視覚インタフェース	ドライバ状態検知	ディーゼル燃焼 II	ガソリン燃焼計測	
[No.98-10] 14:35-17:15	[No.101-10] 15:00-16:15	[No.104-10] 15:00-16:15	[No.107-10] 15:25-16:40	[No.110-10] 15:25-17:05	
[講] 9～14	[講] 25～27	[講] 39～42	[講] 52～54	[講] 63～66	
ドライブレコーダ・ ヒヤリハット	視覚・視認性	メンタルワークロード・ 快適性評価	ディーゼル噴霧	新型ガソリンエンジン	

## 9月30日(木)

※取下げ講演8件(講演No.139,141,148,153,158,167,176,183)

西日本総合展示場(AIMビル3F)					
E展示場	F展示場	G展示場	311～313会議室	314+315会議室	ロビーエントランス
[No.123-10] 9:30-11:35	[No.125-10] 9:30-11:10	[No.127-10] 9:30-11:10	[No.129-10] 9:30-11:10	[No.131-10] 9:30-10:45	10:00-16:00 産学ポスター セッション
[講] 125～129	[講] 136～140	[講] 144～147	[講] 155～159	[講] 165～168	
ドライバモデル	運転支援 II	傷害予測	排ガス計測	ステアリング	
[No.124-10] 13:00-15:40	[No.126-10] 13:00-13:50	[No.128-10] 13:00-15:05	[No.130-10] 13:00-15:05	[No.132-10] 13:00-14:40	
[講] 130～135	[講] 141～143	[講] 148～154	[講] 160～164	[講] 169～172	
車体工学	運転支援 III	事故解析・衝突試験	ディーゼルエンジン 排気後処理	二輪車・運動特性	

## 10月1日(金)

※取下げ講演9件(講演No.213,228,230,242,243,250,254,256,265)

西日本総合展示場(AIMビル3F)					
E展示場	F展示場	G展示場	311～313会議室	314+315会議室	ロビーエントランス
[No.141-10] 9:30-11:10	[No.143-10] 9:30-12:35	[No.145-10] 9:30-11:10	[No.147-10] 9:30-11:35	[No.149-10] 9:30-10:45	10:00-16:00 産学ポスター セッション
[講] 209～212	[講] 220～226	[講] 232～235	[講] 240～246	[講] 252～256	
人体FEモデル	安全運転管理	走行環境認識	ディーゼルエンジン 代替燃料	エンジンCAE	
[No.142-10] 13:00-15:40	[No.144-10] 13:30-14:45	[No.146-10] 13:00-14:40	[No.148-10] 13:00-14:40	[No.150-10] 13:00-14:40	
[講] 213～219	[講] 227～231	[講] 236～239	[講] 247～251	[講] 257～260	
歩行者安全	運転行動	エレクトロニクス・ 情報化	バイオディーゼル エンジン	エンジンの モデルベース開発	

■【No.】は前刷集No.です。前刷集はセッション毎の冊子になっています。  
 ■〔講〕はセッション内の講演番号(網掛け ■ は講演取下げあり)を示します。  
 講演取下げのあったセッションとその後のセッションは、変更後の時間を表示しています。

■【Eng.】は英語講演を示します。  
 ■講演時間：原則1講演25分(講演15分、質疑・入れ替え等10分)  
 ■このファイナルタイムテーブル以降に講演取下げとなった場合は、25分の休憩になります。

北九州国際会議場			
メインホール(1F)	11会議室(1F)	21会議室(2F)	国際会議室(2F)
【No.111-10】 9:30-11:35	【No.114-10】 9:30-12:10	【No.117-10】 9:30-11:35	【No.120-10】 9:30-11:35
〔講〕 67～71	〔講〕 81～86	〔講〕 96～101	〔講〕 111～115
燃料電池 I	音響解析・SEA手法	走行燃費 I	車両運動制御 I
【No.112-10】 13:00-15:05	【No.115-10】 13:00-14:40	【No.118-10】 13:00-15:05	【No.121-10】 13:00-14:40
〔講〕 72～76	〔講〕 87～90	〔講〕 102～106	〔講〕 116～120
燃料電池 II	低周波振動騒音	走行燃費 II	車両運動制御 II
【No.113-10】 15:25-16:15	【No.116-10】 15:00-17:05	【No.119-10】 15:25-17:05	【No.122-10】 15:00-16:40
〔講〕 77～80	〔講〕 91～95	〔講〕 107～110	〔講〕 121～124
水素エンジン	エンジンの振動騒音 解析技術	開発プロセスと パワートレインモデリング	車両運動制御 III

北九州国際会議場				リーガロイヤルホテル小倉	
メインホール(1F)	11会議室(1F)	21会議室(2F)	国際会議室(2F)	ロイヤルホール①(4F)	ロイヤルホール③(4F)
【No.133-10】 9:30-11:10	【No.135-10】 9:30-11:35	【No.137-10】 9:30-11:10	【No.139-10】 9:30-11:35		
〔講〕 173～177	〔講〕 183～188	〔講〕 193～196	〔講〕 201～205		
S.I.燃焼・排気 【Eng.174】	サスペンションの 振動解析技術	燃料・潤滑油・ トライボロジー I	高分子材料・塗装		
【No.134-10】 13:00-15:05	【No.136-10】 13:00-14:40	【No.138-10】 13:00-14:40	【No.140-10】 13:00-14:15		
〔講〕 178～182	〔講〕 189～192	〔講〕 197～200	〔講〕 206～208		
HCCI	NV実験・計測技術	燃料・潤滑油・ トライボロジー II 【Eng.200】	高分子材料		
				16:15-17:15 市民公開特別講演	
					17:30-19:00 秋季大会パーティ

北九州国際会議場			
メインホール(1F)	11会議室(1F)	21会議室(2F)	国際会議室(2F)
【No.151-10】 9:30-11:10	【No.153-10】 9:30-11:10	【No.155-10】 9:30-12:10	【No.157-10】 9:30-12:10
〔講〕 261～265	〔講〕 270～273	〔講〕 278～283	〔講〕 290～295
EV,HVの要素技術	空 力	パワートレイン・ トライボロジー I	金属材料
13:00-14:00 Technical Review	【No.154-10】 13:00-14:40	【No.156-10】 13:00-15:40	【No.158-10】 13:00-15:40
	〔講〕 274～277	〔講〕 284～289	〔講〕 296～301
【No.152-10】 14:30-16:10	CFD・環境制御	パワートレイン・ トライボロジー II	金属材料・ 材料モデリング
〔講〕 266～269			
新型ディーゼルエンジン			

携帯電話から学術講演会の  
検索ができます。  
(<http://jsae.jp/i/>)



# その他イベントのご案内

## 秋季大会パーティ (有料・会員限定)

2010年9月30日(木) 17:30～19:00 リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール③

会員相互間の親睦を図るため、秋季大会パーティを開催いたします。

- 受付場所 リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール③前 (9月30日 17:00～)
- パーティ参加費 正・賛助会員 6,000円 (消費税込)
- 学生会員 4,000円 (消費税込)
- 同伴者(配偶者) 無 料

## その他イベント (会員資格を問わずどなたでも聴講無料。直接会場にお越し下さい)

### 市民公開特別講演

2010年9月30日(木) 16:15～17:15 リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール①

「エンジンのトライボロジー 50年の回顧」

講師: 和栗 雄太郎氏(九州大学名誉教授)

内燃機関は効率が高く軽便性と急速機動性を併せもつため自動車をはじめ殆どの運輸と産業部門の原動機として主用されています。これらは内燃機関の原理に由来する基本的な特徴ですが、その一方潤滑や摩擦、摩耗などトライボロジーの諸問題を本質的に複雑かつ過酷なものにしています。本講演では主として大型船用エンジンを対象に過去に行ったトライボロジーの研究からいくつかのトピックスを取上げて回顧、紹介し、さらに定置式発電プラントの潤滑問題にも言及していただきます。

企画: 自動車技術会 九州支部  
司会: 佐々木 希氏(九州支部長)  
資料: なし



### Technical Review

2010年10月1日(金) 13:00～14:00 北九州国際会議場 1F メインホール

「環境・費用効率を意識した小都市・農村と交通網のあり方」

講師: 林 良嗣氏(名古屋大学大学院)

21世紀の日本の、20世紀との決定的な違いは、気候変動と少子高齢化の複合による生活レベルの低下リスクの増大にあります。気候変動による洪水や熱波など、自然猛威の増大に反して、少子高齢化による潜在成長力の低下と郊外スプロール(無秩序な拡散)によって、社会が脆弱化しつつあります。市街地を中心部などに凝集する「コンパクトシティ」は、この問題回避のための重要な適応策の一つであり、その内容と効果について講演いただきます。

企画: 学術講演会運営委員会  
司会: 青柳 友三氏(学術講演会運営委員会委員長/新エシシーイー)  
資料: 資料がある場合は、当日会場前にて無料配布します。



### 産学ポスターセッション

西日本総合展示場 AIMビル 3F ロビーエントランス

開設時間: 10:00～17:00(9月29日)

10:00～16:00(9月30日・10月1日)

大学及び大学院関係者と産業界における情報交流の促進並びに相互理解を図るため、産学ポスターセッションを実施いたします。

企画: 総務委員会  
参加校: 開催日により参加校が異なります。右表でご確認ください。

### 学生フォーミュラ車輛展示

西日本総合展示場 AIMビル 2F ガレリア

開設時間: 10:00～17:00(9月29日)

10:00～16:00(9月30日・10月1日)

企画: 自動車技術会 九州支部  
出展校: 麻生工科自動車大学校, 九州工業大学, 久留米工業大学, 崇城大学

大学・大学院名 (五十音順)	参加日		
	9/29	9/30	10/1
神奈川大学	○		
関西大学大学院		○	
九州共立大学総合研究所	○		
九州工業大学	○	○	○
九州工業大学大学院		○	
九州産業大学大学院		○	
京都工芸繊維大学大学院	○		
静岡大学		○	
芝浦工業大学大学院	○	○	
首都大学東京大学院		○	
湘南工科大学			○
千葉大学大学院		○	
東京大学生産技術研究所			○
東京電機大学		○	
豊田工業大学大学院			○
長崎大学大学院		○	
日本大学		○	
宮崎大学	○		
ものづくり大学・工学院大学	○		

# 学術講演会ファイナルプログラム

(63セッション・278講演)

- 本プログラムは2010年9月13日付のデータに基づき作成されたものです。
- 講演のabstractは自動車技術会webサイト「ファイナルタイムテーブル」(<http://www.jsae.or.jp/2010aki/program.html>)または「講演検索システム」(<http://jsae.jp/i/>)からご覧下さい。
- セッション名の前に付与されている番号は《前刷集番号》です。前刷集をご購入の際は、前刷集番号をご確認下さい。
- 講演者の事情により、掲載されている講演が講演取下げとなる場合は、25分の休憩になります。  
※プログラム中の会場名で、〔西〕は西日本総合展示場、〔北〕は北九州国際会議場を示します。

## JSAE Annual Congress(Autumn), Technical Session Final Program

- This program is based on the data as of September 13,2010.
- Please refer to the website for the abstract of each presentation. [<http://www.jsae.or.jp/2010aki/program.html>]
- The presentations of the English notation are English presentations. [There is exception partly]
- There is the possibility a presentation is cancelled. If a presentation is cancelled, the presentation time will be a 25-min.break.  
\*In this program,〔W〕 means West Japan General Exhibition Center,〔K〕 means Kitakyushu International Conference Center.

9.29 (Wed.)

西日本総合展示場 AIMビル 3F  
West Japan General Exhibition Center AIM Bldg. 3F

〔西〕 E展示場 (AIM 3F)

〔W〕 Exhibition Space E (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:35]

96-10 運転支援 I  
Drive Support System I  
津川 定之 (名城大学)

- 1 踏切前での一旦停止義務解除時における踏切警報開始後の  
ドライバ行動の評価  
佐藤 稔久・赤松 幹之(産業技術総合研究所)  
柴田 徹・松本 真吾・羽山 和紀(鉄道総合技術研究所)
- 2 状況適応的操舵機能を有する衝突回避支援に対する  
ドライバ受容性の評価  
堀米 辰弥・伊藤 誠・稲垣 敏之(筑波大学)
- 3 一時停止交差点において受容性の高い運転支援方策の検討(第1報)  
菊地 一範・本間 亮平(日本自動車研究所)
- 4 運転支援システムにおける提供情報の信頼性が運転行動に  
与える影響  
平岡 敏洋・増井 惇也・西川 聖明(京都大学大学院)  
伊藤 誠(筑波大学)
- 5 環境情報を用いた最適制御による障害物回避支援システムの研究  
糟谷 賢太郎・古川 修(芝浦工業大学)

[13:00 ~ 14:15]

97-10 車線逸脱警報  
Lane Departure Warning  
永井 正夫 (東京農工大学)

- 6 ARXモデルによる車両横変位予測に関する基礎検討  
楠本 信平・新部 忠幸・中本 尊元(マツダ)

- 7 ドライバとシステムの統合エラーを考慮した事故回避支援システムの  
有効性評価に関する基礎的検討  
鈴木 桂輔(香川大学) 山田 喜一(大同大学)
- 8 Lane Change Behavior Modeling for Autonomous Vehicles  
Based on Surroundings Recognition  
Liming Wan・Pongsathorn Raksinchaoensak・Kozo Maeda・  
Masao Nagai(Tokyo University of Agriculture and Technology)

[14:35 ~ 17:15]

98-10 ドライブレコーダ・ヒヤリハット  
Drive Recorder・Near-miss Incident  
大須賀 美恵子 (大阪工業大学)

- 9 常時記録型ドライブレコーダの急ぎ運転検出機能の開発  
西江 剛・池西 俊仁・鎌田 崇義・永井 正夫(東京農工大学)  
田中 華二(矢崎計器)
- 10 東京のタクシー車両に搭載されたドライブレコーダーの  
データ自動収集システムの構築  
久保 登(神奈川大学)  
榎田 修一・荒川 等・石川 正士・岩崎 宣仁・堀之内 新吾・林 豊洋(九州工業大学)  
龍 重法(堀場製作所)  
石川 博敏・森 みどり・堀野 定雄(神奈川大学)
- 11 プローブカーのヒヤリハットデータを活用した危険経路の推定  
山崎 慎也・舟久保 晃・谷澤 悠輔(マツダ)
- 12 信号交差点通過時の右直ヒヤリハットデータに基づく運転行動分析  
藤田 浩徳・小竹 元基・鎌田 実(東京大学)  
永井 正夫(東京農工大学) 茂呂 克己(自動車技術会)
- 13 予防安全評価におけるヒヤリハットデータベースの活用  
白井 秀和(秋田県立大学大学院)  
高梨 宏之・御室 哲志(秋田県立大学)
- 14 運転状態遷移モデルを考慮した急ぎ運転検出アルゴリズムの評価  
ワタンユー カイソククラム・ボンサトーン ラクシンチャラーンサク・  
西郷 慎太郎・永井 正夫(東京農工大学大学院)  
下坂 正倫・森 武俊・佐藤 知正(東京大学大学院)

## 〔西〕 F展示場 (AIM 3F)

〔W〕 Exhibition Space F (AIM 3F)

【9:30～12:10】

## 99-10 HMI

大門 樹 (慶應義塾大学)

- 15 音声操作を含むドライバインタフェースの台上評価方法に関する研究  
宇野 宏(日本自動車研究所) 中村 之信(本田技術研究所)
- 16 3Dアンビエントサウンドを用いた接近車に対する合流行動支援の効果  
神沼 充伸・根本 英明(日産自動車)
- 17 「ドライバにとって有益な情報」の有効性を確認するためのナビゲーション擬似システムによる実験の検討  
箕輪 要佑・稲垣 和芳・梶川 忠彦(U'eyes Design)  
黒田 浩一・大森 啓史・北崎 智之(日産自動車)  
北島 宗雄・赤松 幹之(産業技術総合研究所)
- 18 車載ロボットインタフェースのドライバ心理面に与える効果に関する考察  
太田 克己・保泉 秀明・三田村 健・山根 雅夫・堺 宏征・鎌田 俊一(日産自動車)
- 19 表示操作系HMIの評価手法の研究(第4報)  
溝淵 佐知(Vocalage)  
古賀 光(トヨタ自動車) 栗谷川 幸代・景山 一郎(日本大学)  
那和 一成(トヨタIT開発センター) 久門 仁(トヨタ自動車)
- 20 省スペースと使いやすさを両立する自動車用多機能スイッチシステムの開発  
田中 兼一・白鳥 朗・北崎 智之・金沢 到・大山口 雅弘・田中 洋一郎(日産自動車)  
和田 善好・中原 健次郎(カルソニックカンセイ)

【13:00～14:40】

## 100-10 視覚インタフェース

Visual Interface

篠原 一光 (大阪大学)

- 21 運転中のカーナビゲーション操作による有効視野への影響に関する基礎的検討  
三田 貴之(慶應義塾大学大学院)  
大門 樹(慶應義塾大学) 田 容旭(慶應義塾先端科学技術研究センター)  
アリ ウィドド・岩崎 弘利(デンソーアイティラボラトリ)
- 22 自動車運転時における注意散漫、明るさ及び交通状況が眼球停留関連電位に及ぼす影響  
川西 祐嗣(慶應義塾大学大学院)  
田 容旭(慶應義塾先端科学技術研究センター)  
大門 樹(慶應義塾大学) 寺田 佳久・森川 幸治(パナソニック)
- 23 運転相当の視線移動を伴うタスク中の脳波計測による視覚情報の認知負担評価  
ギョルゲ ルチアン(日産自動車)
- 24 インフラ協調安全運転支援システムの表示インタフェースに関する検討(第3報)  
大谷 亮・岩城 亮(日本自動車研究所)  
中村 之信(日本自動車工業会)

【15:00～16:15】

## 101-10 視覚・視認性

Visual Sensation and Perception

中野 倫明 (名城大学)

- 25 ドライバの印象に影響を及ぼす車室内の視覚表示の属性調査  
岩城 亮・大谷 亮(日本自動車研究所)  
中村 之信(日本自動車工業会)
- 26 ミラーの代替としてのカメラ・モニタシステムに関する検討  
松村 英樹・青木 義郎・塚田 由紀・岡田 竹雄(交通安全環境研究所)
- 27 前照灯配光による視認性やグレアの変化とその改善  
青木 義郎(交通安全環境研究所)

## 〔西〕 G展示場 (AIM 3F)

〔W〕 Exhibition Space G (AIM 3F)

【9:30～12:10】

## 102-10 高齢者運転

Behavior of Elderly Driver

赤松 幹之 (産業技術総合研究所)

- 28 高齢ドライバーの視野を考慮した信号機の位置に関する研究  
春日 伸予・平間 秀・柴 洋文・澤田 東一(芝浦工業大学)
- 29 高齢運転者の類型化と不安全行動の対応検討  
細川 崇・橋本 博(日本自動車研究所)  
田坂 寿康・吉田 傑(日本自動車工業会)
- 30 高齢ドライバにおける一時停止標識見落とし要因の検討  
高原 美和(豊田中央研究所)  
國分 三輝(愛知淑徳大学) 武市 芳才(ダイハツ工業)  
和田 隆広・土居 俊一(香川大学)
- 31 高齢ドライバの運転特性に基づく一時停止支援システムの試作と評価  
土居 俊一(香川大学)  
國分 三輝(愛知淑徳大学) 高原 美和・梅村 祥之(豊田中央研究所)  
武市 芳才・和田 隆広(香川大学)
- 32 コンピュータを利用したマルチタスクトレーニングによるドライビングシミュレータにおける高齢者の運転能力向上  
古賀 一男(名古屋大学)  
梅村 祥之・高原 美和(豊田中央研究所) 米村 朋子(大阪大学)
- 33 ドライブシミュレータ検査における高齢者への事前インストラクションの影響  
伊藤 安海・久保田 怜・根本 哲也・松浦 弘幸(国立長寿医療研究センター)
- 【13:00～14:40】
- 103-10 ドライバ状態検知  
Driver Monitoring  
畑 秀二 (マツダ)
- 〔取下げ〕 34 浅い眠気の判定法の開発(第2報)  
島山 善幸・岡村 宏樹・平野 豊(トヨタ自動車)
- 35 低覚醒時におけるドライバの視認行動特性  
本間 亮平・安部 原也・菊地 一範・岩城 亮・藤井 健(日本自動車研究所)  
福島 正夫(日本自動車工業会)

- 36 操舵特性の変化に基づく覚醒低下検出  
江副 俊樹(日野自動車)  
西 智樹・ボンゲテップ アンキティテラクル・吉田 浩之・  
坂口 靖雄・寺寫 立太(豊田中央研究所)

- 37 多様な実験参加者を対象とした反射性眼球運動に基づく  
ドライバーディストラクションの定量化の検討  
森山 晃・大日方 五郎・徳田 暁・柳原 一輝(名古屋大学)  
濱田 洋人(トヨタ自動車)

- 38 ドライバのディストラクション状態を配慮した  
追突警報タイミングの設定  
安部 原也(日本自動車研究所)  
伊藤 誠(筑波大学) 山村 智弘(日産自動車)

[15:00 ~ 16:15]

104-10 メンタルワークロード・快適性評価  
Mental Workload and Fatigue  
森田 和元 (交通安全環境研究所)

- 39 サッカーディック・イントルージョンを使い  
メンタル・ワークロードを推定する研究  
徳田 暁・大日方 五郎(名古屋大学大学院)  
Evan Palmer・Alex Chaparro(Wichita State University)

- 40 快適なキャビンを実現するための評価指標の開発  
吉澤 公理・高橋 美晴・平尾 章成・江上 真弘(日産自動車)  
近藤 徳彦(神戸大学)

- 41 マルチモーダル検出課題によるドライバの認知的負荷評価に  
関する研究  
篠原 一光(大阪大学大学院)  
嶋田 淳・若松 正晴(三菱電機) 木村 貴彦(関西福祉科学大学)

- 〔取下げ〕42 ドライビングシミュレータ酔いの原因解析  
工藤 聡将・古川 修(芝浦工業大学)  
須藤 真仁・吉澤 強太(本田技術研究所)

〔西〕〔W〕 311 ~ 313 (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:10]

105-10 ディーゼル燃焼 I  
Diesel Combustion I  
渡邊 孝司 (久留米工業大学)

- 43 ディーゼル機関の内部EGRと外部EGR適用時の  
燃焼・排ガス特性比較  
宮坂 勇輝・松山 隼也・渡辺 皓太・浅井 啓輔(東京都市大学大学院)  
佐藤 絢香(三木プーリ) 石田 孝一(東京都市大学大学院)  
井元 浩二(東京都市大学)

- 44 ディーゼル機関の定圧燃焼サイクルと性能・排ガス特性との  
相関性について  
松村 将宏・渡辺 皓太・宮坂 勇輝・沖本 憲昭・飯田 達也・  
深谷 拓己(東京都市大学大学院)  
井元 浩二(東京都市大学)

- 45 水素吸入および大量EGRによる低温ディーゼル燃焼に関する研究  
宮本 亨・長谷川 浩和・三上 真人・小嶋 直哉(山口大学大学院)  
梶島 一・浦田 泰弘(本田技術研究所)

- 46 多気筒カムレスエンジンを用いた燃費・排出ガスの同時低減  
北島 亮・港 明彦・犬飼 直樹・島崎 直基(いすゞ中央研究所)

[13:00 ~ 15:05]

106-10 ディーゼル燃焼 II  
Diesel Combustion II  
植木 弘信 (長崎大学)

- 47 高圧縮比ディーゼル機関の吸気スワール比、  
アフター噴射特性の考察  
渡辺 皓太・松村 将宏・宮坂 勇輝・深谷 拓己・飯田 達也・  
沖本 憲昭(東京都市大学大学院) 井元 浩二(東京都市大学)

- 48 リエントラント型燃焼室の形状が二段噴射を用いた  
ディーゼル機関の性能・排気に及ぼす影響  
堀部 直人・磨井 泰裕・田中 宏和・濱田 貴之・石山 拓二(京都大学)

- 49 過渡運転時におけるディーゼルエンジンの  
燃焼室壁面温度及び火炎温度の同時計測  
新井 琢真・住岡 忠使・小酒 英範(東京工業大学)

- 50 パイロット噴射と雰囲気の不均一性を用いた  
ディーゼル燃焼の制御に関する研究  
亀澤 北斗・小酒 英範(東京工業大学大学院)

- 51 ディーゼル燃料噴射装置の  
ボディーシート部摩耗に関する研究(第2報)  
堀子 喜浩・三好 崇之・小酒 英範・益子 正文(東京工業大学大学院)

[15:25 ~ 16:40]

107-10 ディーゼル噴霧  
Diesel Spray  
森上 修 (九州大学)

- 52 マイクロプロブL2Fを用いた高圧場ディーゼル噴霧液滴の  
分裂・合体の研究  
山本 昌平・坂口 大作・植木 弘信・石田 正弘(長崎大学)

- 53 ディーゼル噴霧液滴の速度とサイズに及ぼす雰囲気圧力の影響  
駒田 佳介・坂口 大作・植木 弘信・石田 正弘(長崎大学)

- 54 ノズル形状に対するディーゼル噴霧の応答曲面モデルの構築  
栗本 直規・鈴木 雅幸・吉野 陸・西島 義明(デンソー)

〔西〕〔W〕 314 + 315 (AIM 3F)

[9:30 ~ 10:45]

108-10 ガソリンノック・プレイグニッション  
S.I. Knocking・Preignition  
村瀬 英一 (九州大学)

- 55 火花点火機関のノック回避による高効率化の研究  
野村 一敏・田中 慶太・酒井 俊・草鹿 仁・大聖 泰弘(早稲田大学)

- 56 変速ピストンクランク機構を用いた  
高圧縮比ガソリンエンジンに関する研究  
松浦 健太・窪山 達也・森吉 泰生(千葉大学)  
森川 弘二(富士重工業) 吉松 昭夫(トヨタ自動車)

- 57 燃料組成が過給エンジンを模擬した高温高圧場で  
プレイグニッションに与える影響  
横尾 望・中田 浩一・川竹 勝則(トヨタ自動車)  
佐川 瞬大・渡邊 学(JX日鉱日石エネルギー)

[13:00 ~ 15:05]

109-10 ガソリン燃焼計測  
S.I. Combustion Measurement  
田上 公俊 (大分大学)

- 58 燃料噴霧の液滴速度と径の同時計測法の研究  
羽入 広大(静岡大学大学院)  
齋藤 隆之(静岡大学創造科学大学院・静岡大学)
- 59 ガソリン車におけるN<sub>2</sub>O排出挙動解析と計測技術の検討  
依田 公一・山下 哲也・茂木 和久(トヨタ自動車)
- 60 急速圧縮膨張装置を用いたエンジン模擬実験と  
燃焼の解析・計測技術  
満田 正彦・川西 秀樹・延谷 義晴・松岡 寛和(コベルコ科研)  
古谷 博秀・徐 世中(産業技術総合研究所) 本澤 尚史(筑波大学大学院)  
高橋 栄一・染矢 聡(産業技術総合研究所) 富永 馨(東京大学大学院)
- 61 高速非定常噴流における局所燃料濃度のLIF計測  
妹尾 隆志・小坂 尚司・川那辺 洋・塩路 昌宏(京都大学)
- 62 マイクロ波プラズマ燃焼エンジンにおける着火過程の観測  
片野 博樹・河原 伸幸・富田 栄二・越智 雄大(岡山大学大学院)  
池田 裕二(イマジニアリング)

[15:25 ~ 17:05]

110-10 新型ガソリンエンジン  
New Model Gasoline Engine  
石間 経章 (群馬大学)

- 63 新世代水平対向ガソリンエンジンの開発(第1報)  
堀 智宣・佐々木 礼・秋本 晃・清野 貴央・  
本村 達之輔・澁井 敦・森川 弘二(富士重工業)
- 64 新世代水平対向ガソリンエンジンの開発(第2報)  
秋本 晃・岩村 一洋・澁井 敦・片倉 祐一・堀 智宣・  
佐々木 礼・保坂 浩・石田 礼・森川 弘二(富士重工業)
- 65 デュアルインジェクターシステムを採用したHR改良エンジンの開発  
森島 信人・堂山 誠也(日産自動車)  
柴田 豊広・安田 眞二(愛知機械工業)
- 66 軽量/コンパクト/高効率 新型3気筒1.2Lガソリンエンジンの開発  
板倉 裕二・得能 英利(日産自動車) 福嶋 誠二・古田 満(愛知機械工業)

北九州国際会議場  
Kitakyushu International Conference Center

(北) メインホール (1F)  
(K) Main Hall (1F)

[9:30 ~ 11:35]

111-10 燃料電池 I  
Fuel Cell I  
菅原 生豊 (日産自動車)

- 67 球状金属粉末焼結多孔体を用いた燃料電池セパレータの  
接触抵抗および圧力損失  
首藤 登志夫・高橋 豊(首都大学東京大学院)
- 68 燃料電池における電解質膜の酸化劣化機構  
藤田 敬祐・高見 昌宜・吉田 利彦(トヨタ自動車)
- 69 燃料電池触媒表面の解析  
片岡 幹裕・永見 哲夫(トヨタ自動車)  
堀内 洋輔・寺田 智明(キャタラー)
- 70 自動車用燃料電池セルの発電性能向上  
後藤 莊吾・濱田 成孝(トヨタ自動車)  
塩澤 方浩(日本自動車部品総合研究所) 近藤 政彰(トヨタ自動車)
- 71 空気中に含まれる海塩粒子成分によるPEFC劣化への影響  
大野 和之・今村 大地(日本自動車研究所)

[13:00 ~ 15:05]

112-10 燃料電池 II  
Fuel Cell II  
松田 和人 (本田技術研究所)

- 72 燃料電池の容量成分を利用した電力制御の開発  
今西 啓之・真鍋 晃太(トヨタ自動車)  
小川 朋也(トヨタテクニカルディベロップメント)  
野々部 康宏(トヨタ自動車)
- 73 自動車用圧縮水素容器のガス充填放出サイクルにおける  
容器内の到達温度  
松野 優・前田 安正・大塚 宣明・田村 陽介・  
三石 洋之(日本自動車研究所)
- 74 水素消費による容器および附属品の温度変化の研究  
糸井 裕彦・前田 安正・田村 陽介・三石 洋之(日本自動車研究所)
- 75 自動車用圧縮水素容器(VH3)の疲労寿命に影響を及ぼす  
熱応力の調査  
富岡 純一・木口 和博・田村 陽介・三石 洋之(日本自動車研究所)
- 76 水素燃料自動車火災における隣接車両への延焼性  
田村 陽介・高林 勝・竹内 正幸・三石 洋之(日本自動車研究所)

[15:25 ~ 16:15]

113-10 水素エンジン  
Hydrogen Engine  
北川 敏明 (九州大学)

- 77 高圧筒内直接噴射水素エンジンの過濃混合気噴流点火の  
基礎的特性の研究  
及川 昌訓・小笠原 悠介・近藤 慶一・長沼 要・高木 靖雄(東京都市大学)  
佐藤 由雄(交通安全環境研究所)

〔取下げ〕78 高压筒内直接噴射式多気筒水素エンジンにおける  
燃料噴射系動作不安定性の動的解明野上 真生・盛川 佳徳・斉藤 章太・佐藤 裕介・  
山根 公高・梅村 幸生(東京都市大学)〔取下げ〕79 高压筒内直接噴射式水素エンジンにおける  
コモンレール方式高压水素噴射弁の耐久性向上

佐藤 裕介・野上 真生・山根 公高・梅村 幸生(東京都市大学)

## 80 直噴エンジン用高压水素噴射弁の開発

宮本 裕・富田 浩邦(日本自動車部品総合研究所)  
丹野 史朗(トヨタ自動車)

## 〔北〕〔K〕 11 (1F)

〔9:30 ~ 12:10〕

114-10 音響解析・SEA手法  
SEA Method for Acoustic Analysis  
山下 剛(本田技術研究所)81 自動車の音響解析のための解析的SEAモデルと  
ハイブリッドSEAモデルの比較高橋 亜佑美(日本大学大学院)  
小林 之徳(寿屋フロンテ) 古株 慎一(California State University)  
見坐地 一人(日本大学)82 類似車両のハイブリッドSEAモデルを用いた簡易シミュレーション手法  
(軽量化と車室内音低減を両立する防音仕様提案)高橋 亜佑美・中根 彰人(日本大学大学院)  
小林 之徳(寿屋フロンテ) 大久 博道(California State University)  
見坐地 一人(日本大学)

## 83 車両外部音場を表現するための解析手法の開発

見坐地 一人(日本大学)  
橋上 聡(日本大学大学院) 古株 慎一(California State University)  
高橋 亜佑美(日本大学大学院)

## 84 車両外部の騒音に対する防音性能の評価・解析

上原 律・赤間 洋(いすゞ中央研究所)

## 85 表面音響インピーダンス計測による車室内の音響特性予測

森澤 吉孝・榊原 健男・中山 彰(コベルコ科研)

## 86 実験SEAによる走行時の自動車ドアミラーの入力パワー同定

岩井 知弘(市光工業)  
塩尻 聡男(日産自動車) 黒田 勝彦・山崎 徹(神奈川大学)

〔13:00 ~ 14:40〕

115-10 低周波振動騒音  
Noise and Vibration in Low Frequency  
石山 武(日本自動車研究所)

## 87 車室内こもり音の変化に対する感受性に関する検討

岡本 裕之・佐藤 利治・曾根 原努(スズキ)

## 88 回転スピーカによる中周波音響感度測定精度向上

市川 佳・鍵山 恭彦(本田技術研究所)

## 89 低周波ロードノイズ路面入力計算法

橋岡 正人・上山 さざり・城戸 一郎(トヨタテクニカルディベロップメント)  
山本 征吾・土山 稔・山岡 裕生(トヨタ自動車)

## 90 ハーシュこもり音の車速依存性に関する実験的考察

山内 裕司(Mitsubishi Motors R&D of America)  
清野 裕之(三菱自動車工業)

〔15:00 ~ 17:05〕

116-10 エンジンの振動騒音解析技術  
Analysis of Engine Noise and Vibration  
大石 久己(工学院大学)91 高調波振動を低減するアクティブコントロールエンジンマウントの  
制御方法

石黒 哲矢・米 竜大・根本 浩臣(本田技術研究所)

## 92 エンジン起振力パラメータの提案

花鳥 萌・小川 祐則・田上 実秋(エステック)  
石濱 正男(神奈川工科大学)93 予混合圧縮着火燃焼を適用するディーゼルエンジンの  
騒音改善技術の開発

小澤 恒・大久保 泰宏・西山 康宏・中島 健朗(いすゞ中央研究所)

94 ディーゼルエンジンの主軸受部のキャビテーションに起因する  
衝撃的異音の発生メカニズム

三浦 康夫(日野自動車)

## 95 マルチボディダイナミクスをもちいたチェーン騒音低減の検討

坂口 元康・阿黒 雅樹・山田 真嗣・松持 祐司・関 雅夫・  
若林 智弘・小岩 洋二郎(本田技術研究所)

## 〔北〕〔K〕 21 (2F)

〔9:30 ~ 11:35〕

117-10 走行燃費 I  
Fuel Economy I  
杉山 元(日本自動車研究所)96 種々の貨物自動車の営業走行における減速エネルギーの  
実態と燃費改善の可能性

齋藤 晃・高田 寛(運輸低公害車普及機構)

97 エコドライブ支援装置を用いた自動車運送事業用車両の  
使用地域や季節が燃費に及ぼす影響

植木 繁・高田 寛(運輸低公害車普及機構)

## 98 エコドライブ実践状況と燃費改善効果の関係分析

西堀 泰英・安藤 良輔・加知 範康(豊田都市交通研究所)

〔取下げ〕99 エコドライブがリアルワールドエミッションに及ぼす  
影響の解析(第2報)佐藤 進・鈴木 央一(交通安全環境研究所)  
宮 雅芳・石関 俊英(慶應義塾大学大学院)  
飯田 訓正(慶應義塾大学)

## 100 信号現示を考慮したエコドライブ評価

山口 大助(東京大学生産技術研究所)  
市原 隆司・熊野 史朗(元東京大学大学院)  
佐藤 洋一・須田 義大(東京大学生産技術研究所)  
李 曙光(東京大学大学院)

## 101 モード走行における“車の燃費性能指標”の提案

山内 豊誠(富士重工業)  
栗原 敏郎(富士テクノサービス)

[13:00 ~ 15:05]

**118-10 走行燃費Ⅱ**  
Fuel EconomyⅡ  
岩瀬 勉 (富士重工業)

- 102 2050年に向けた自動車像  
森 一俊 (帝京大学)
- 103 企業のエコドライブ活動によるCO<sub>2</sub>削減効果と対費用効果  
小林 紀 (省エネルギーセンター)  
森 雅昭 (コカ・コーラセントラルジャパン)  
松本 俊幸・伊東 健次 (セントラルジャパンロジスティクス)  
森崎 敦 (三菱オートリース)
- 104 市街地走行における走行速度が燃料消費に与える影響  
谷口 正明 (省エネルギーセンター)
- 105 沿道局所汚染機構の解析に資する実路走行貨物自動車のNOx排出量推計モデルの評価  
佐藤 進 (交通安全環境研究所)  
石関 俊英・宮 雅芳 (慶應義塾大学大学院)  
飯田 訓正 (慶應義塾大学)
- 106 モード走行におけるタイヤ損失特性の評価方法について(第2報)  
鈴木 央一・野田 明 (交通安全環境研究所)  
井上 勇・及川 英樹・八木 博行 (小野測器)

[15:25 ~ 17:05]

**119-10 開発プロセスとパワートレインモデリング**  
Powertrain Modeling  
沢田 龍作 (トヨタ自動車)

- 107 Quick DRによる不具合不満の未然防止  
大島 恵・奈良 敢也 (日産自動車) 吉村 達彦 (九州大学)
- 108 シリンダーヘッド熱疲労寿命予測技術  
池原 賢亮・谷口 拓也 (日産自動車)
- 109 クランクケース強度検討における有限要素  
ボルトモデリング手法の構築  
齋藤 淳也・栗原 博・関谷 大輔・齋藤 秀輝 (本田技術研究所)
- 110 吸排気・燃焼特性の計測に基づくディーゼルエンジンの  
動特性モデリング  
海野 太郎・萩谷 憲治・内山 直樹・野田 進 (豊橋技術科学大学)  
藤田 曜示 (イーシーエス)

**〔北〕 国際会議室 (2F)**  
**〔K〕 International Conference Room (2F)**

[9:30 ~ 11:35]

**120-10 車両運動制御Ⅰ**  
Vehicle Dynamics and ControlⅠ  
川邊 武俊 (九州大学)

- 111 インホイールモータ車の車両運動制御開発  
赤穂 大輔・中津 慎利・勝山 悦生・高桑 佳・吉末 監介 (トヨタ自動車)

- 112 制駆動力でコンプライアンスステアを制御する車両の  
運動性能に関する基礎的検討  
山門 誠・高橋 絢也・齋藤 真二郎 (日立製作所)
- 113 操舵操作に対しての車両ヨー運動の過渡応答を補償する  
舵角及びブレーキ制御  
山崎 一平・小野田 裕一・岡田 康志 (トヨタ自動車)
- 114 品質ばらつき抑制プロセス適用による片流れ現象の改善  
渡邊 明規雄・味村 寛・奥 知久・大島 恵 (日産自動車)
- 115 連結車の車両重量および重心推定方法の検討  
秋山 興平・江副 俊樹・榎本 英彦 (日野自動車)

[13:00 ~ 14:40]

**121-10 車両運動制御Ⅱ**  
Vehicle Dynamics and ControlⅡ  
山本 真規 (トヨタ自動車)

- 〔取下げ〕 116 車両のロール特性に関する基礎的研究  
曾我 有奈 (日本大学大学院) 景山 一郎 (日本大学)
- 117 横加速度入力を用いた進路変更し易さに及ぼす  
ロール運動の影響解析(第3報)  
大下 宰一郎 (大下研究所)
- 118 内ロール旋回自動車のフルビークルモデルによる  
緊急回避性能の評価  
尾崎 明德
- 119 G-Vectoringに基づいた減衰力制御によるロール感向上  
平尾 隆介 (日立オートモティブシステムズ)  
山門 誠 (日立製作所)  
一丸 修之・原田 脩史 (日立オートモティブシステムズ)
- 120 運動性能向上のためのセミアクティブサスペンションによる  
接地荷重制御  
原田 脩史・平尾 隆介・久米村 洋一 (日立オートモティブシステムズ)

[15:00 ~ 16:40]

**122-10 車両運動制御Ⅲ**  
Vehicle Dynamics and ControlⅢ  
森 和典 (久留米工業大学)

- 121 高速回転タイヤの表面歪測定技術開発  
花田 亮治・瀬戸 秀樹 (横浜ゴム)  
藤垣 元治 (和歌山大学大学院)  
志茂 公亮 (和歌山大学) 森本 吉春 (モアレ研究所)
- 122 タイヤ温度特性が車両運動特性に及ぼす影響  
大久保 良輔・大山 鋼造 (トヨタ自動車)
- 123 後輪タイヤ特性が飽和特性に近い状態での運動特性の一考察  
森 正樹・菅沢 深 (玉川大学)
- 124 燃費CH-DY試験精度にタイヤの状態が与える影響について  
永瀬 拓也 (芝浦工業大学大学院)  
二瓶 光弥・清水 健一 (産業技術総合研究所)  
溝根 哲也・茂木 恵美子 (本田技術研究所)

## 9.30 (Thu.)

西日本総合展示場 AIMビル 3F  
West Japan General Exhibition Center AIM Bldg. 3F

〔西〕 E展示場 (AIM 3F)  
〔W〕 Exhibition Space E (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:35]

123-10 ドライバモデル  
Driver Model  
土居 俊一 (香川大学)

- 125 運転行動からのドライバの歩行者への気付きの推定  
細江 尚樹・山田 啓一(名城大学)
- 126 運転技量差を表現するドライバモデル構築に関する研究(第2報)  
下山 修(日産自動車)  
須田 義大・山口 大助(東京大学生産技術研究所)
- 127 高速道路における運転支援に関する研究  
小林 賢知・景山 一郎・栗谷川 幸代(日本大学)
- 128 ドライバ特性評価のためのドライバモデル構築に関する研究  
景山 一郎・栗谷川 幸代(日本大学)
- 129 Study on Driver Model for Hybrid Truck Based on Driving Simulator Experimental Results  
Dam Hoang Phuc・Ryuzo Hayashi・Pongsathorn Raksincharoensak・Masao Nagai(Tokyo University of Agriculture and Technology)

[13:00 ~ 15:40]

124-10 車体工学  
Body Engineering  
櫻井 俊明 (いわき明星大学)

- 130 巻きコア方式で製作されるスリットを有するモータコアの見かけのヤング率  
野田 尚昭・高瀬 康・高田 久貴・張 彪(九州工業大学)
- 131 自動車用ブレーキホースかしめ部の形状がシール性に及ぼす影響について  
野田 尚昭・大田 健人・金 俸基(九州工業大学大学院)
- 132 メタルトップルーフシステム開発における公差解析の活用  
多田 智徳・田野井 務(アイシン精機)
- 133 ボデー構造の解析手法としてのU\*sum2次元相関図の提案  
小林 広和・内藤 正志・漆山 雄太(本田技術研究所)  
水野 泰介・高橋 邦弘(慶應義塾大学)
- 134 ソーラーカーのオリンピッククラス車両における設計コンセプトの構築  
上野 智之(金沢工業大学大学院)  
瀬戸 雅宏・山部 昌(金沢工業大学ものづくり研究所)
- 135 学生フォーミュラ車両におけるドライバモデルを考慮した車両設計手法の検討  
細川 徹(金沢工業大学大学院)  
瀬戸 雅宏・山部 昌(金沢工業大学ものづくり研究所)

〔西〕 F展示場 (AIM 3F)  
〔W〕 Exhibition Space F (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:10]

125-10 運転支援Ⅱ  
Drive Support SystemⅡ  
久家 伸友 (日産自動車)

- 136 ペダル操作時の下肢筋群の制御特性の研究  
實井 誠・大島 徹(富山県立大学)  
田島 孝光・小池 明彦(本田技術研究所)
- 137 ハプティック・ペダルによる車両の速度誘導に関する研究  
尹 飛龍・林 隆三・ボンサトーンラクシンチャランサク・永井 正夫(東京農工大学) 山王堂 真也・星野 正喜(トヨタ自動車)
- 138 安全な速度にコントロールしやすい減速操作支援の提案  
津留 直彦・伊佐治 和美(デンソー)  
森川 翔(デンソーテクノ)
- 〔取下げ〕 139 緊急操舵回避に対するプリクラッシュブレーキの影響  
湯浅 均・沖田 敏宣・山田 芳久・高橋 浩幸(トヨタ自動車)
- 140 ドライバの運転操作モデルに基づく個別適合型運転診断アルゴリズムの開発  
西郷 慎太郎・ボンサトーンラクシンチャランサク・永井 正夫(東京農工大学大学院)

[13:00 ~ 13:50]

126-10 運転支援Ⅲ  
Drive Support SystemⅢ  
景山 一郎 (日本大学)

- 〔取下げ〕 141 運転し易さ解析技術の開発  
羽田 昌敏・小林 孝雄・安田 栄一・小野 英一(豊田中央研究所)  
木村 茂之・富山 雅弘・金子 孝之・岸 浩司・志田 知章(トヨタ自動車)
- 142 ダイレクトヨーモーメント制御を用いた後側方車両に対する運転支援システムの開発  
小林 雅裕(日産自動車)  
佐藤 行(North America Nissan Motor)  
早川 泰久・西牧 修平・作井 寛史(日産自動車)
- 143 操舵力覚情報による車両安定性の向上  
安井 由行・児玉 博之・加藤 平久・長屋 淳也(アドヴィックス)

〔西〕 G展示場 (AIM 3F)  
〔W〕 Exhibition Space G (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:10]

127-10 傷害予測  
Prediction of Injury  
谷本 泉 (ダイハツ工業)

- 144 衝撃時の乗員応答の予測に対する取り組み  
長坂 圭(スズキ) 水野 幸治(名古屋大学)
- 145 側面衝突シミュレーションに基づいた自動車乗員傷害予測式の構築  
宮崎 祐介(金沢大学)  
西村 一晃(東京工業大学) 片方 健太(ソニー)  
Jonas A.Pramudita・宇治橋 貞幸(東京工業大学)

9.30 (Thu.)

- 146 日本人版予測生存率Psモデルを用いた救命のための傷害予測評価  
富永 茂・西本 哲也(日本大学)  
阪本 雄一郎(佐賀大学)  
益子 邦洋(日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)
- 147 傷害リスク予測シミュレーションに関する一考察  
三上 耕司・Antona Jacobo・江島 晋(日本自動車研究所)

[13:00 ~ 15:05]

**128-10 事故解析・衝突試験**  
Accident Analysis・Crashworthiness  
関根 康史(三菱自動車工業)

- 〔取下げ〕148 モータライズドシートベルトを用いた低衝撃時における姿勢変化と筋応答に関する研究  
伊藤 大輔・江島 晋・小野 古志郎(日本自動車研究所)  
椎名 逸雄(筑波大学) 金岡 恒治(早稲田大学)
- 149 交通事故統合データと後遺障害および外傷診療データを連携させた傷害分析  
立石 一正・小野 古志郎・岩田 三枝子(日本自動車研究所)  
渡辺 博之(交通事故総合分析センター)  
平川 清彦(国土交通省)

- 150 衝突速度の推定  
藤田 光伸(自研センター)
- 151 火薬銃を用いた衝突試験機の開発と衝撃吸収部材の検討  
末延 達也・赤星 保浩・高良 隆男・鳴海 智博・  
人見 達弥・小俣 秀太郎(九州工業大学)

- 152 複数の衝突性能を扱う車体構造最適化システムの開発  
小平 剛央(マツダ)

- 〔取下げ〕153 新歩行者ダミーのフルスケール検証  
秋山 朗彦・岡元 雅義・金山 悠・高橋 裕公(本田技術研究所)

- 154 衝撃吸収部材の簡易設計手法に関する研究  
水野 拓磨(金沢工業大学大学院)  
瀬戸 雅宏・山部 昌(金沢工業大学ものづくり研究所)

**〔西〕〔W〕 311 ~ 313 (AIM 3F)**

[9:30 ~ 11:10]

**129-10 排ガス計測**  
Exhaust Gas Emissions  
新井 雅隆(群馬大学)

- 155 赤外吸収法を利用したエンジンシリンダ内残留ガス濃度計測  
大槻 篤史・河原 伸幸・富田 栄二(岡山大学大学院)  
青柳 友三(新エシイー)
- 156 ディーゼル自動車の排気ガス中に含まれる粒子数の測定  
山田 広行・南 利貴・柏倉 拓(いすゞ自動車)
- 157 重量車の車載型排ガス計測器に関する検討(第1報)  
相馬 誠一(日本自動車研究所)  
南 利貴(日本自動車工業会)

- 〔取下げ〕158 重量車の車載型排ガス計測器に関する検討(第2報)  
南 利貴(日本自動車工業会)  
相馬 誠一(日本自動車研究所)

- 159 自動車排出ガス中の個別炭化水素捕集法の検討  
秋山 賢一・小野村 恵子(日本自動車研究所)

[13:00 ~ 15:05]

**130-10 ディーゼルエンジン排気後処理**  
Diesel After Treatment  
福岡 隆雄(トヨタ自動車)

- 160 ディーゼルパーティキュレート燃焼触媒の開発  
森 武史・鈴木 紀彦・松尾 雄一・古川 敦史・関 千晶(本田技術研究所)
- 161 新DPRの開発  
平林 浩・古川 卓俊・小泉 亘・田中 智史・小柳 善武・齋藤 安彦(日野自動車)
- 162 ディーゼル微粒子フィルターおよびメンブレンフィルターにおける微粒子の捕集・酸化過程の顕微鏡可視化と評価  
大木 浩史・カリンプリチャー・花村 克悟(東京工業大学)
- 163 大型商用車用PM、NOx低減後処理システムの開発  
小和田 稔・佐野 類・漆原 浩・南川 仁一・  
高橋 則行・古南 哲一(日野自動車)
- 164 尿素SCRシステムのNOx浄化率向上に関する研究(第5報)  
太田 康夫・津田 健嗣・宮澤 敬法・徳井 貞仁・大聖 泰弘(早稲田大学)  
鈴木 央一・石井 素(交通安全環境研究所)

**〔西〕〔W〕 314 + 315 (AIM 3F)**

[9:30 ~ 10:45]

**131-10 ステアリング**  
Steering  
安部 正人(神奈川工科大学)

- 165 大型車の直進性に与える操舵系の剛性に関する研究(第2報)  
黒木 亨・栗谷川 幸代(日本大学)  
金子 哲也(大阪産業大学) 柳山 富士男・景山 一郎(日本大学)
- 166 電動パワーステアリングを用いた横外乱に対する直進性向上制御器の開発  
塚原 裕平・竹家 章仁・北野 弘明・栗重 正彦・岩崎 隆至(三菱電機)

- 〔取下げ〕167 操舵性能の物理特性モデリングと伝達系要素設計に関する研究(第5報)  
川原 禎弘(ジェイテクト)  
木村 秀司・吉元 浩司(研究開発センター)

- 168 A Steering Control of Parking Assistance System  
Katsuhiko Sakai・Hiroyuki Koibuchi(Honda R&D)

[13:00 ~ 14:40]

**132-10 二輪車・運動特性**  
Motorcycle Dynamics  
片山 硬(久留米工業大学)

- 172 二輪車の転倒を防ぐ新たな装置の開発(第1報)  
三觜 康弘(芝浦工業大学大学院)  
古川 修(芝浦工業大学)
- 169 二輪車の転倒を防ぐ新たな装置の開発(第2報)  
三觜 康弘(芝浦工業大学大学院)  
古川 修(芝浦工業大学)

- 170 二輪車の定常円旋回特性について  
山田 壮一郎・景山 一郎・栗谷川 幸代・相川 雄也・遠藤 裕夢(日本大学)  
浅野 邦明(自動車安全運転センター) 西尾 実(アブソリュート)  
平澤 順治(茨城工業高等専門学校) 石井 宏志(川崎重工業)  
佐藤 茂(スズキ) 手塚 良孝(本田技術研究所) 渡辺 仁(ヤマハ発動機)  
松並 俊行(住友ゴム工業) 築地原 政文(ブリヂストン)

- 171 二輪車の運動性能とタイヤ特性に関する研究(第2報)  
相川 雄也(日本大学大学院) 景山 一郎・栗谷川 幸代(日本大学)

北九州国際会議場

Kitakyushu International Conference Center

〔北〕メインホール (1F)

〔K〕 Main Hall (1F)

[9:30 ~ 11:10]

133-10 S.I.燃焼・排気  
S.I. Combustion Emissions  
園田 幸弘 (トヨタ自動車)

- 173 乱流Karlovitz数一定条件下におけるイソオクタン/  
空気予混合火炎に及ぼす熱-拡散効果の影響  
早川 晃弘・竹尾 友宏・小林 正一・  
永野 幸秀・北川 敏明(九州大学大学院)

- 174 Mixture Formation and Ignition Processes of Fuel Sprays  
Injected from Hole-Type Nozzles for DISI Engine  
Jiangping Tian・Hajime Kataoka・Keiya Nishida(University of Hiroshima)  
Takashi Araki・Kiyotaka Sato・Masahisa Yamakawa(Mazda Motor)

- 175 FFV用エンジンにおける低温燃焼の改善手法と効果の検討  
中島 進(本田技術研究所)

- 〔取下げ〕176 ガソリン直噴におけるInjector Deposit付着低減手法  
村上 淳・柿本 冬樹・岩本 善雄(ケーヒン)

- 177 触媒付き積層A/Fセンサの開発  
山本 真宏・鈴木 康文・板倉 智也(デンソー)  
佐々木 敬規(トヨタ自動車)

[13:00 ~ 15:05]

134-10 HCCI  
漆原 友則 (日産自動車)

- 178 ブローダウン過給システムの多気筒ガソリンHCCI機関への適応  
後藤 俊介・窪山 達也・中津 雅之・森吉 泰生(千葉大学)  
畑村 耕一(畑村エンジン研究事務所)

- 179 プラズマサポートによる着火遅れ短縮の可能性  
安東 弘光・酒井 康行・深野 健太・周 夢瑤(福井大学)  
桑原 一成(大阪工業大学)

- 180 アルカン簡略化燃焼反応モデルの中間生成物反応パッケージ  
酒井 康行・安東 弘光(福井大学大学院)  
桑原 一成(大阪工業大学)

- 181 混合燃料を用いたHCCI機関における熱炎の二段熱発生  
小松 聖志・清水 亮介(日本大学大学院)  
飯島 晃良・庄司 秀夫(日本大学)

- 182 二種燃料を用いたHCCI機関の燃焼解析  
高橋 勇介・小田切 康博・齋藤 健児(日本大学大学院)  
飯島 晃良・吉田 幸司・庄司 秀夫(日本大学)

〔北〕〔K〕 11 (1F)

[9:30 ~ 11:35]

135-10 サスペンションの振動解析技術  
Vibration Analysis Technology for Suspension  
渋谷 広彦 (日産自動車)

- 〔取下げ〕183 微小突起乗り越し時におけるタイヤ振動励起力推定法  
中村 文哉・小泉 孝之・辻内 伸好(同志社大学)  
松山 幸司・松原 真己(東洋ゴム工業)

- 184 品質工学を用いたサスペンションALDモデルの最適化  
一野瀬 昌則(日立製作所)  
安田 知彦・佐藤 隆之(日立建機)

- 185 電磁サスペンションによる大型車の操安性向上制御(第1報)  
小林 こずえ・木下 和人・佐々木 隆(日野自動車)  
中野 公彦・鈴木 啓祐・須田 義大(東京大学)  
上妻 文英(カヤバシステムマシナリー)  
伊藤 隆・上原 栄治(KYB)

- 186 電磁サスペンションによる大型車の操安性向上制御(第2報)  
中野 公彦・鈴木 啓祐・須田 義大(東京大学生産技術研究所)  
小林 こずえ・佐々木 隆・木下 和人(日野自動車)  
上妻 文英(カヤバシステムマシナリー)  
伊藤 隆・上原 栄治(KYB)

- 187 4輪加振機を使用した乗心地評価法  
足立 由夫・長久 真樹(本田技術研究所)  
徳永 裕之(Honda R&D Americas)

- 188 4Poster試験装置を利用した加振試験とシミュレーション  
小野 大輔・廣岡 栄子・緒方 剛・下池 利孝(コベルコ科研)

[13:00 ~ 14:40]

136-10 NV実験・計測技術  
Testing and Measurement Technology  
for Noise and Vibration  
見坐地 一人 (日本大学)

- 189 自動二輪車用ディスクブレーキの制動時に褶動方向の  
垂直ひずみ分布を持つ摩擦材の鳴き特性  
久保田 芳永・小武内 清貴(同志社大学大学院)  
大窪 和也・藤井 透(同志社大学) 仲辻 毅(サンスター技研)

- 190 薄膜センサによる自動車空調用コンプレッサの  
吸入弁ひずみ分布計測  
尾鷲 道康(東京都市大学大学院)  
三原 雄司(東京都市大学) 李 辰宇・細井 秀紀(サンデン)

- 191 歯車伝達誤差測定装置の開発(第2報)  
笹岡 茂史・富田 享昭・田村 弘行・杉山 吉龍・齋藤 真(小野測器)

- 192 プロペラシャフトセンターベアリングサポート用ダストシールの開発  
加藤 大助・近藤 知哉(ショーワ)

## 〔北〕〔K〕 21 (2F)

【9:30 ~ 11:10】

137-10 燃料・潤滑油・トライボロジー I  
Fuels, Lubricants and Tribology I  
飯塚 正 (出光興産)

- 193 ETBE配合がガソリンエンジンデポジットに及ぼす影響  
村上 達也・松浦 直也・保泉 明・田中 重行(コスモ石油)
- 194 ディーゼルエンジンのデポジット生成に対する軽油性状の影響  
村田 和巳・大塩 敦保・江頭 嘉朗・田中 重行(コスモ石油)
- 195 パーム油バイオディーゼルの流動点改善とディーゼル燃焼  
木下 英二・高田 聖士・笹川 裕樹(鹿児島大学大学院)
- 196 多種酸化防止剤の混合添加がバイオディーゼル燃料の  
貯蔵安定性に及ぼす影響  
山本 純平(滋賀県立大学大学院)  
山根 浩二・河崎 澄(滋賀県立大学) 田辺 剛(精工化学)

【13:00 ~ 14:40】

138-10 燃料・潤滑油・トライボロジー II  
Fuels, Lubricants and Tribology II  
伊東 明美 (東京都市大学)

- 197 高濃度バイオマス混合軽油がエンジン油に及ぼす影響  
岡本 憲一(石油産業活性化センター)  
金子 タカシ(JX日鉱日石エネルギー)  
古井 克朗(いすゞ自動車) 土橋 敬市(日野自動車)  
岡田 正則(トヨタ自動車) 平田 公信(UDトラックス)  
馬場 拡光・福田一樹(JX日鉱日石エネルギー)  
長谷川 勉(出光興産) 村田 和巳(コスモ石油)  
渋谷 昌彦(昭和シェル石油) 古関 恵一(東燃ゼネラル石油)  
川谷 聖(三菱ふそうトラック・バス) 亀岡 敦志(日本自動車研究所)  
細野 恭司(日産自動車) 宮崎 守(石油産業活性化センター)
- 198 超音波センサーを用いたバイオディーゼル混合軽油の濃度測定  
山根 浩二・河崎 澄(滋賀県立大学)
- 199 廃食用油メチルエステルBDFのエンジン油性能に与える影響(第2報)  
橋本 隆(日野自動車)  
三浦 正年(コスモ石油ルブリカンツ)  
鶴飼 哲司(UDトラックス) 丸山 正希(JX日鉱日石エネルギー)  
梅原 秀友(日本ルーブリゾール) 梅原 勝海(シェブロンジャパン)  
安田 晃一・山崎 隆宏(潤滑油協会)
- 200 New Components for Improving Antiwear Performance  
in Modern Engine Lubricants  
Kazuo Nishimura(Lubrizol Japan)  
Douglas T. Jayne・Matt D. Gieselman(The Lubrizol)

## 〔北〕 国際会議室 (2F)

〔K〕 International Conference Room (2F)

【9:30 ~ 11:35】

139-10 高分子材料・塗装  
Polymers and Paints  
春藤 聖二 (日野自動車)

- 201 材料から放散する揮発性有機化合物の評価手法(第1報)  
岩崎 貴普(ジーエルサイエンス)  
星野 邦広(日本電子) 達 晃一(いすゞ中央研究所)  
曾根 孝(エスベック) 佐藤 勝二(カネカテクノリサーチ)  
田辺 新一(早稲田大学)

- 202 材料から放散する揮発性有機化合物の評価手法(第2報)  
星野 邦広(日本電子)  
達 晃一(いすゞ中央研究所) 岩崎 貴普(ジーエルサイエンス)  
田辺 新一(早稲田大学) 佐藤 勝二(カネカテクノリサーチ)  
曾根 孝(エスベック)

- 203 材料から放散する揮発性有機化合物の評価手法(第3報)  
達 晃一・内藤 敏幸・竹田 哲也(いすゞ中央研究所)  
岩崎 貴普(ジーエルサイエンス) 星野 邦広(日本電子)  
佐藤 勝二(カネカテクノリサーチ) 曾根 孝(エスベック)  
田辺 新一(早稲田大学)

- 204 バンパー用水性白色導電プライマー塗料の開発  
渡邊 義信・成田 義則・石井 正彦(トヨタ自動車)

- 205 平滑感が高いプラスチック用塗装の開発  
古賀 一陽・河邊 光祥(マツダ)

【13:00 ~ 14:15】

140-10 高分子材料  
Polymers  
藤 和久 (マツダ)

- 206 軽量化に寄与する耐衝撃性構造用接着剤の経時解析  
川端 博(ダウ・ケミカル日本)  
Scott Burr(The Dow Chemical) Andreas Lutz(Dow Europe)
- 207 接着シートによるCFRP接合と転写離型紙によるCFRP表面賦型  
星 健太郎・黒木 潤一・植木 貴之(大日本印刷)
- 208 高耐熱性エンジンマウント材料の開発  
五嶋 康博・三浦 秀樹・内山 利行・宗方 悌規(本田技術研究所)

## 10.1 (Fri.)

西日本総合展示場 AIMビル 3F  
West Japan General Exhibition Center AIM Bldg. 3F〔西〕 E展示場 (AIM 3F)  
〔W〕 Exhibition Space E (AIM 3F)

【9:30 ~ 11:10】

141-10 人体FEモデル  
Human FEM  
榎 徹雄 (東京都市大学)

- 209 リバースエンジニアリングによる前突ダミー FEモデルの開発  
金子 勇人・毛利 真理子・城岡 正和・  
駒村 達哉・安木 剛(トヨタ自動車)
- 210 リバースエンジニアリングによる側突ダミー FEモデルの開発  
桑原 正明・安木 剛・福島 聡・瓜生 健・宮崎 浩(トヨタ自動車)
- 211 成人および高齢者胸部骨格FEモデルの開発(続報)  
伊藤 修・伊藤 優一・独占 泰裕(本田技術研究所)  
森 史江・大橋 一樹(ピーエスジー)
- 212 妊婦乗員の衝突挙動に関する研究(第2報)  
北川 裕一・安木 剛(トヨタ自動車)

## 10.1 (Fri.)

[13:00 ~ 15:40]

### 142-10 歩行者安全

Pedestrian Safety

関根 康史 (三菱自動車工業)

[取下げ] 213 歩行者事故における衝突シナリオと

傷害発生状況に関する検討

鈴木 俊次・高橋 裕公(本田技術研究所)

214 豊田警察署管内の事故事例を基にした死者低減の検討

塩田 誠・木内 透・神野 義久・葛巻 清吾(トヨタ自動車)

215 ドライブレコーダデータにおける車両と歩行者の

ニアミス状況の特徴(第2報)

松井 靖浩・高橋 国夫・安藤 憲一(交通安全環境研究所)

216 車載単眼カメラによる歩行者検知のための

画像処理アルゴリズムの開発(第2報)

片岡 裕雄(慶應義塾大学大学院)

青木 義満(慶應義塾大学) 松井 靖浩(交通安全環境研究所)

217 画像相関を利用した移動人物の抽出と

その事故未然防止システムへの応用

廣渡 俊充(三菱電機)

瀧脇 正樹・田中 和博(九州工業大学)

218 衝突確率推定のための歩行者の行動予測法

大濱 吉紘・清水 司(豊田中央研究所)

永田 真一・佐久川 純(トヨタ自動車)

219 パーソナルモビリティの実社会への導入に向けた基礎的検討

西堀 泰英・河合 正吉・加知 範康・

稲垣 具志・安藤 良輔(豊田都市交通研究所)

[西] F展示場 (AIM 3F)

[W] Exhibition Space F (AIM 3F)

[9:30 ~ 12:35]

### 143-10 安全運転管理

Safety Driving

鈴木 桂輔 (香川大学)

220 実車を用いた危険運転抑止システムの効果測定

清水 誠次・志堂寺 和則(九州大学大学院)

松木 裕二(福岡工業大学) 植草 理・加藤 直治(UDトラックス)

221 ドライバの善行運転に対する動機づけの検討

丸茂 喜高(日本大学)

鈴木 宏典(日本工業大学) 片山 硬(久留米工業大学)

222 安全運転管理教育システムASSISTにおける

一時停止教育用ソフトウェアの開発

隅田 康明・林 政喜・合志 和晃・松永 勝也(九州産業大学大学院)

223 安全運転管理教育システムASSISTにおける

不安全データの検出(第2報)

宮里 翔・林 政喜・合志 和晃・松永 勝也(九州産業大学大学院)

224 安全運転教育用自転車シミュレータの開発

鈴木 憲二・宮丸 幸夫(本田技術研究所)

225 実車を用いた危険場面再現手法に関する研究

田川 傑・内田 信行・小林 隆・神保 浩之(日本自動車研究所)

226 ブルーピンググラウンドGPS安全監視システム

瀧川 正人・岡本 勝美・松倉 剛克・

大関 孝夫・小森 久裕(本田技術研究所)

武内 公一(パーテックススタンダード) 大橋 康博(タスクプラン)

[13:30 ~ 14:45]

### 144-10 運転行動

Driver Behavior

志堂寺 和則 (九州大学)

227 衝突余裕度を用いた追突危険状態の評価とドライバ支援方策の検討

北島 創・鷹取 取(日本自動車研究所)

榎田 修一(九州工業大学)

江口 賢・池 優志・片山 硬(久留米工業大学)

[取下げ] 228 駐車車両側方通過時の運転行動分析

竹本 雅憲・樋口 和則・名切 未晴(豊田中央研究所)

229 見通し条件が混合した交差点への接近・進入行動

本間 亮平・藤田 和男(日本自動車研究所)

[取下げ] 230 運送事業用トラック運転者の

安全車間距離保持行動についての研究

林 政喜・松永 勝也・合志 和晃(九州産業大学)

231 トレーラの横転抑制の現状と今後

竹下 敏保(日本トレクス)

[西] G展示場 (AIM 3F)

[W] Exhibition Space G (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:10]

### 145-10 走行環境認識

Road Environment Recognition

澤田 健一 (本田技術研究所)

232 隊列走行におけるレーザーダ白線検知システム(第2報)

松浦 充保・磯貝 俊樹・川合 健夫(デンソー)

233 レーザレンジファインダを用いた白線検出および白線線形推定

菅沼 直樹(金沢大学) 魚住 剛弘(金沢大学大学院)

234 マップマッチングによる自動運転自動車の位置姿勢推定

魚住 剛弘(金沢大学大学院) 菅沼 直樹(金沢大学)

235 レーザレーダによる走行環境中の障害物属性推定(第2報)

山代 華子・山田 憲一・伊東 敏夫(ダイハツ工業)

[13:00 ~ 14:40]

### 146-10 エレクトロニクス・情報化

Electronics and Information Technology

西山 義孝 (UDトラックス)

236 隊列走行システムにおける周辺車両への情報提供に関する一検討

加藤 晋(産業技術総合研究所)

津川 定之(名城大学・産業技術総合研究所)

237 自動車組込みサービス指向ソフトウェアアーキテクチャ設計方法

田邊 隼希(南山大学大学院) 青山 幹雄(南山大学)

## 10.1 (Fri.)

- 238 小型ブラシレス直流モータのセンサレス制御アルゴリズムの提案  
秋山 雅彦・星野 大介・根本 浩臣(本田技術研究所)
- 239 ITS車載器を利用したダイナミック・パークアンドライドの  
実用化に向けたドライビングシミュレータ実験環境の構築  
平沢 隆之・牧野 浩志・須田 義大(東京大学生産技術研究所)

〔西〕〔W〕 311 ~ 313 (AIM 3F)

[9:30 ~ 11:35]

147-10 ディーゼルエンジン代替燃料  
Diesel Alternative Fuel  
植松 真一郎(日野自動車)

- 240 エタノール・ジエチルエーテル混合燃料の噴霧混合気形成および  
自己着火に及ぼす周囲ガス圧力、温度および酸素濃度の影響  
徳永 和也(崇城大学大学院) 内田 浩二・齊藤 弘順(崇城大学)
- 241 DME過給ディーゼルエンジンにおけるポスト新長期規制以降の  
排出ガスレベル達成と更なる燃費改善の研究  
原 崇・島崎 直基・柳澤 直樹・瀬戸 雄史・高瀬 繁寿・  
徳丸 武志・岡本 毅(いすゞ中央研究所)

- 〔取下げ〕242 石油系クリーンディーゼル燃料品質に関する研究  
松本 幸太郎・田中 英治・  
加藤 智春(JOMOテクニカルリサーチセンター)  
大野 真美・荒木 泰博(ジャパンエナジー)

- 〔取下げ〕243 Particle Size Distribution of Alternative Fuels  
Markus Lueft・Wolfgang Zulehner・  
Uwe Wagner・Ottmar Moehler・  
Ulrich Spicher(Karlsruhe Institute of Technology)

- 244 重量車用ディーゼル機関における燃料性状および  
添加剤が燃焼および排出ガス特性に与える影響  
金井 瑞樹(早稲田大学大学院)  
草鹿 仁・大聖 泰弘(早稲田大学)  
渡邊 学・三ツ井 裕太・鈴木 祐史(JX日鉱日石エネルギー)

- 245 ディーゼルエンジンにおけるエマルジョン燃料の効果  
林 大介・西田 秀之・伊藤 泰志・川竹 勝則(トヨタ自動車)

- 246 多種燃料対応エンジンの研究  
西田 秀之・設楽 正樹・伊藤 泰志・川竹 勝則(トヨタ自動車)

[13:00 ~ 14:40]

148-10 バイオディーゼルエンジン  
Biofuel Diesel  
柳澤 直樹(いすゞ中央研究所)

- 247 アルコール活用によるディーゼルの燃焼改善  
道川 内亮・丹野 史朗・伊藤 泰志・川竹 勝則(トヨタ自動車)

- 248 バイオディーゼル燃料が乗用車用ディーゼル機関の性能と  
排出ガスに及ぼす影響  
久留 裕貴・大久保 拓哉・崔 暁丹・松本 康義・  
藤田 翔平・大聖 泰弘(早稲田大学)  
大橋 敏宏・高林 徹(本田技術研究所)

- 249 バイオディーゼル機関のNOx排出抑制に関する研究(第1報)  
水嶋 教文(交通安全環境研究所)  
荒井 洋樹・岩浅 光一郎(東京農工大学大学院)  
川野 大輔・石井 素・後藤 雄一(交通安全環境研究所)

- 〔取下げ〕250 バイオディーゼル機関のNOx排出抑制に関する研究(第2報)  
水嶋 教文(交通安全環境研究所)  
荒井 洋樹・岩浅 光一郎(東京農工大学)  
川野 大輔・石井 素・後藤 雄一(交通安全環境研究所)
- 251 バイオディーゼルサロゲートの着火特性に関する反応論的解析(第2報)  
中原 広流・桑原 一成(大阪工業大学)  
酒井 康行・安東 弘光(福井大学)

〔西〕〔W〕 314 + 315 (AIM 3F)

[9:30 ~ 10:45]

149-10 エンジンCAE  
Engine CAE  
大谷 正彦(いすゞ自動車)

- 252 擬二次元モデルを用いたDiesel Particulate Filter数値解析  
須田 浩由・加藤 秀朗(早稲田大学大学院)  
草鹿 仁(早稲田大学)  
正木 信彦・平田 公信・赤川 久(UDトラックス)  
森 高行・鶴見 二美之(東京濾器)

- 253 DeNOx触媒活性化のためのディーゼル燃焼の三次元数値解析  
矢野 洋樹・嶋尾 浩幸(早稲田大学大学院)  
草鹿 仁(早稲田大学)  
中山 茂樹・野崎 雄介・森 俊博(トヨタ自動車)

- 〔取下げ〕254 CFDを用いた新型エンジンの燃焼性能設計  
伊藤 晋吾・鶴島 理史(日産自動車)  
齋藤 亮・永山 勇太(日産テクノ)

- 255 詳細な素反応過程を考慮した数値流体コードによる  
ディーゼル燃焼の数値解析  
三又 秀行(計算力学研究センター)  
草鹿 仁(早稲田大学) 大聖 泰弘(早稲田大学大学院)

- 〔取下げ〕256 Chemkinを用いたエタノール混合軽油の燃焼解析  
柳野 哲史・陳 之立(東海大学)

[13:00 ~ 14:40]

150-10 エンジンのモデルベース開発  
Engine Model Base Development  
額 額 晋(三菱ふそうトラック・バス)

- 257 モデルベース制御のためのディーゼルエンジン構成要素の  
モデリング(第1報)  
中村 俊貴・鈴木 泰政(早稲田大学大学院)  
草鹿 仁(早稲田大学) 中山 茂樹・福岡 隆雄(トヨタ自動車)

- 258 モデルベース制御のためのディーゼルエンジン構成要素の  
モデリング(第2報)  
鈴木 泰政(早稲田大学大学院)  
草鹿 仁(早稲田大学) 中山 茂樹・福岡 隆雄(トヨタ自動車)

- 259 過渡排気適合を高効率に行うための  
ディーゼルリアルタイムシミュレータの開発  
谷 雅之・上田 直治・石橋 康隆・田畑 宗広(日産自動車)

- 260 MBD実現に向けたプラントモデリング手法  
金子 聡志・渡辺 智・石田 真規・大島 明(トヨタ自動車)  
Vasco Schirrmacher(IAV)

北九州国際会議場  
Kitakyushu International Conference Center

〔北〕メインホール (1F)  
〔K〕 Main Hall (1F)

【9:30～11:10】

151-10 EV, HVの要素技術  
Element of EV, HV  
栃岡 孝宏 (マツダ)

- 261 非接触充電システム(第2報)  
保田 富夫・井田 和彦(テクノバ)  
阿部 茂・金子 裕良(埼玉大学)  
鈴木 明・山之内 良一(アイシン・エイ・ダブリュ)
- 262 電気自動車の走行可能範囲を表示するナビゲーションシステム  
安土 光男・藤井 馨一郎(パイオニア)
- 263 電動車両用リチウムイオン電池の  
サイクル寿命試験プロファイルの開発(第2報)  
森田 賢治・黒川 陽弘・大野 和之・  
明神 正雄・島田 佳祐(日本自動車研究所)
- 264 電気駆動系自動車におけるエネルギー再生制御の  
実態把握とその最適化について  
奥井 伸宜・新国 哲也・河合 英直(交通安全環境研究所)

〔取下げ〕265 圧縮空気自動車の実用化に関する研究

加藤 祐樹・林 光一・山田 英助(青山学院大学)

【14:30～16:10】

152-10 新型ディーゼルエンジン  
New Model Diesel Engine  
青柳 友三 (新エシイー)

- 266 Euro5対応新型2.5Lディーゼルエンジンの概要と環境対応技術  
池田 護・溝口 健太郎・梶浦 史朗・横山 仁・  
河本 桂二・黒住 信雄(日産自動車)
- 267 乗用車用新型V6ディーゼルエンジンを支える新技術  
片岡 秀樹・榎本 岳夫・坂本 裕紀(日産自動車)
- 268 中型トラック搭載 ポスト新長期排出ガス規制対応  
5.2L新ディーゼルエンジンの開発  
後藤 寧・日高 達也・高橋 英樹(いすゞ自動車)
- 269 大型商用車用低排出ガス・低燃費ディーゼルエンジンの開発  
河邑 卓児・櫻井 健泰・伊原 美樹・  
関口 文明・林 孝次・庄山 幸司(日野自動車)

〔北〕〔K〕 11 (1F)

【9:30～11:10】

153-10 空力  
Aerodynamics  
東 大輔 (久留米工業大学)

- 270 車両外板の見切りが空気抵抗に及ぼす影響の研究  
中山 周一郎・高光 二郎・安木 剛・前田 和宏(トヨタ自動車)

- 271 ローリングロード付新風洞の紹介  
是本 健介・河村 信之・青木 道広・諏訪 要二(本田技術研究所)  
吉岡 英樹(アデコ)  
Fred Galanga・Chris Conner・Amir Kharazi・  
Tony Nagle(Jacobs Technology)
- 272 大型トラックの空力性能予測と改善手法  
福田 亮・河合 一男・松浮 朋冬(いすゞ中央研究所)
- 273 大型トラック用低空気抵抗荷台の開発  
土田 典裕・芦田 泰一・風間 徹(日野自動車)  
塚本 浩一・村上 智義(トランテックス)

【13:00～14:40】

154-10 CFD・環境制御  
CFD・Climate Control  
中川 邦夫 (大阪工業大学)

- 274 冷却ファンの実用的な性能予測法に関する研究  
小林 裕児・郡 逸平(東京都市大学)  
松島 幸夫(三菱ふそうトラック・バス)
- 275 車両排気系近傍の部品温度予測手法  
王 宗光・浮田 哲嗣・林 毅(三菱自動車工業)  
益田 裕一(三菱自動車エンジニアリング)
- 276 温熱感覚特性に基づくシートヒーターの開発  
大井 元(日産自動車・九州大学大学院)  
安斉 健二(日産自動車)  
田畑 広二・中 泰仁・栃原 裕(九州大学大学院)
- 277 冬季換気損失低減に寄与する湿度コントロールシステムの開発  
平井 伸一郎・片岡 拓也・熊田 辰己(デンソー)  
後藤 孝章(トヨタ自動車)

〔北〕〔K〕 21 (2F)

【9:30～12:10】

155-10 パワートレイン・トライボロジーI  
Powertrain Tribology I  
副島 光洋 (九州産業大学)

- 278 高速回転ミニアチュアプラネタリ用ケージ&ローラの開発  
武村 浩道・北村 浩一(日本精工)
- 279 可変速装置用歯車の歯面形状の分析  
小森 雅晴・姜 晶哲・竹岡 郁・木村 幸彦(京都大学)
- 280 トロイダルCVTの伝達効率に関する研究  
野地 祥子・西井 大樹(日本精工)
- 281 粘度指数向上ATFの研究  
加藤 維識・田中 秀樹・小林 省吾・坂本 直生・  
園田 修三・八田 剛志(本田技術研究所)
- 282 HEV, EVモーター冷却潤滑兼用油の開発研究  
坪内 俊之・弟子丸 順一(出光興産)
- 283 歯車式トルク感応型LSDの摩擦挙動解析  
安藤 淳二・安藤 寛之・齋藤 秀幸・宅野 博・原 利美(ジェイテクト)  
山下 洋三・酒井 直行(豊田工機トルセン)  
遠山 護・大森 俊英(豊田中央研究所)

[13:00 ~ 15:40]

**156-10 パワートレイン・トライボロジーⅡ**  
**Powertrain TribologyⅡ**  
 濱武 俊朗 (大分大学)

- 284 低剛性スカートピストンにおけるフリクション低減要因に関する考察  
 加藤 公也・宮本 和志・星川 淳・東 博文(三菱自動車工業)  
 伊東 明美(東京都市大学)
- 285 ピストンピン/ピンボス軸受間摩擦係数測定に関する研究  
 樋笠 惟人(日鍛バルブ)  
 伊東 明美(東京都市大学)  
 河野 佳介・末 誠一(日立オートモティブシステムズ)
- 286 直動式動弁機構カム・フォロワの摩擦特性に関する研究  
 副島 光洋(九州産業大学)  
 牛島 宜亮(九州産業大学大学院)  
 小川 永司・丹治 亨(日本ピストンリング)
- 287 ピストンクーリングチャンネル内流動の可視化  
 小宮 敦樹・守谷 修一(東北大学流体科学研究所)  
 小針 達也(東北大学大学院) 小坂 誠二(本田技術研究所)  
 仲野 是克・円山 重直(東北大学流体科学研究所)
- 288 ガソリンエンジンのオイル消費に及ぼすシリンダ壁面からの  
 オイル蒸発の影響(第2報)  
 針谷 安男(宇都宮大学)  
 飯島 直樹(リケン) 梶谷 隆雄(宇都宮大学) 嶋田 彰子(足利工業高校)
- 289 エンジン油の低粘度化による省燃費効果としゅう動摩擦への影響  
 奥山 庸介・桜井 隆幸・下荒地 大地・川内 昌司・  
 八田 剛志・丸山 雅司(本田技術研究所)

## 〔北〕国際会議室 (2F)

〔K〕 International Conference Room (2F)

[9:30 ~ 12:10]

**157-10 金属材料**  
**Metals**  
 豊田 裕介 (本田技術研究所)

- 290 曲げを主体とした超ハイテンの成形技術開発  
 二塚 貴之・藤田 毅・山崎 雄司・稲積 透(JFEスチール)

- 291 自動車車体修理における高張力鋼板の切削性調査  
 藤田 光伸・池田 浩和(自研センター)
- 292 加工性に優れた自動車骨格部材用高強度ERW鋼管  
 荒谷 昌利・石黒 康英・園部 治・橋本 裕二・  
 郡司 牧男・佐藤 昭夫(JFEスチール)
- 293 プレス成形によるフランジレス多角形閉断面部品の成形技術開発  
 樋貝 和彦・山崎 雄司・稲積 透(JFEスチール)  
 越智 勝広(日プレ)
- 294 板間隙を考慮したスポット溶接部の疲労強度評価  
 内谷 努・谷崎 誠二(ダイハツ工業)  
 内原 正人・中山 英介(住友金属工業)
- 295 スポット溶接構造の公称構造応力算出法  
 稲生 博紀(日本大学大学院)  
 富岡 昇・岡部 顕史(日本大学)

[13:00 ~ 15:40]

**158-10 金属材料・材料モデリング**  
**Metals and Materials Modeling**  
 野田 尚昭 (九州工業大学)

- 296 張り剛性官能評価の定量化技術の開発  
 岩間 隆史・佐藤 健太郎・山崎 雄司・稲積 透(JFEスチール)
- 297 ドア部品における張り剛性予測技術の開発  
 岩間 隆史・藤田 毅・山崎 雄司・稲積 透(JFEスチール)  
 鈴木 弘行・笠原 敏郎・中野 吉伸・古居 健(トヨタ車体)
- 298 アルミニウム合金/鋼ハイブリッド構造を用いた  
 自動車部品の軽量化検討(第1報)  
 杵淵 雅男・中川 知和・橘 美枝・橋村 徹(神戸製鋼所)
- 299 アルミニウム合金/鋼ハイブリッド構造を用いた  
 自動車部品の軽量化検討(第2報)  
 松本 剛・笹部 誠二・岩井 正敏・杵淵 雅男(神戸製鋼所)
- 300 異なるピッチを有するナットとCDボルトの組合せによる  
 応力集中緩和効果について  
 肖 陽・野田 尚昭・万 泉(九州工業大学)  
 西田 新一(佐賀大学)
- 301 ブロック積層接合による中空構造の  
 アルミニウム合金エンジン部品の高速試作技法  
 和田 武・直本 達夫・岡島 秀典(本田技術研究所)

## ■■■■ 「自動車技術会論文集」 ■■■■

## 「International Journal of Automotive Engineering」掲載論文投稿募集

自動車技術会では、2010年6月より論文集を日本語論文集と英語論文集と2種類に分け、日本語論文は「自動車技術会論文集」、英語論文は「International Journal of Automotive Engineering」に掲載していくことに致しました。学術的・工学的・技術的価値のある研究成果を広く紹介し、自動車に係わる様々な技術、研究に対する社会的理解を深めるため、「自動車技術会論文集」、「International Journal of Automotive Engineering」への投稿をお勧めいたしております。

## ①自動車技術会論文集

- ・日本語論文集/年6回発行、冊子形式
- ・論文投稿：<http://www.jsae.or.jp/menu2/ronbun.php>

## ② International Journal of Automotive Engineering

- ・英語論文集/年4回発行、電子ジャーナル形式(掲載論文は逐次WEBサイトにて公開)
- ・論文投稿：<http://www.jsae.or.jp/IJAE/>

## ●自動車エンジニアレベル認定のための継続能力開発ポイントの対象です。

なお、掲載論文は審査の上決定致します。皆様のご投稿をお待ちしております。

お問合せ先：出版グループ 飯島  
 ronbun@jsae.or.jp